

香川大学 全学共通教育 リーディングリスト

【学問基礎科目】

以下のリストは、学問基礎の科目領域ごとに分類した大学1・2年生向けの図書です。

リストの情報は、次のように整理されています。

- | |
|---|
| (1) 基本的な書誌情報（著者、出版年、書名、出版社、ISBN） |
| (2) その本が関連する学問領域 |
| (3) キーワード（5つまで）：その本が関連するテーマなど |
| (4) 本の難易度：0～3まで（数が大きいほど難易度が高いです。難易度は推薦者の主観と独断によるものです） |
| (5) 教員による本の紹介、おすすめの箇所 |
| (6) 推薦者の名前（所属）※所属は推薦当時のものです。 |

目次

科目領域	ページ数
1. 哲学・倫理学・論理学 ……1-7	1 2. 経営学 ……36-37
2. 芸術 ……8-10	1 3. 数学 ……38-39
3. 心理学 ……11-12	1 4. 地球科学 ……40-41
4. 社会学 ……13-16	1 5. 物理学 ……42-43
5. 教育学 ……17-18	1 6. 化学 ……44-45
6. 歴史学 ……19-21	1 7. 生物学 ……46-50
7. 文学 ……22-24	1 8. 地理学 ……51-52
8. 言語学 ……25-28	1 9. 統計学 ……53-55
9. 法学 ……29-30	2 0. 情報科学 ……56-57
1 0. 政治学 ……31-32	2 1. 医学 ……58-63
1 1. 経済学 ……33-35	2 2. 看護学 ……64-67

1. 哲学・倫理学・論理学

リスト番号：1-1

- (1) 内山勝利・中川純男編（1996年）『西洋哲学史〔古代・中世編〕』ミネルヴァ書房
- (2) 学問領域：哲学・倫理学、歴史学
- (3) キーワード：哲学、ギリシア、ローマ、キリスト教、西洋史
- (4) 難易度2
- (5) 紀元前6世紀から、紀元15世紀までの西洋哲学史が通覧できる。特定の哲学者について知るために、各章を個別に読むのもよし。イスラム哲学や東方神学にも目が配られており、高校の倫理では味わえなかった哲学史の奥行きを感じることができ
るはず。
- (6) 推薦者：佐藤慶太（大教センター）

リスト番号：1-2

- (1) 宗像恵・中岡成文（1995年）『西洋哲学史〔近代編〕』ミネルヴァ書房
- (2) 学問領域：哲学・倫理学、歴史学
- (3) キーワード：哲学、科学、社会思想、キリスト教、西洋史
- (4) 難易度2
- (5) ルネサンス期から19世紀までの西洋哲学史が通覧できる。この本の特徴は、科学革命、市民革命、産業革命と哲学との密接な関係に光を当てている点。読み通してみれば、哲学がヨーロッパでどういった役割を果たしてきたのかが、きっとよく分かる。
- (6) 推薦者：佐藤慶太（大教センター）

リスト番号：1-3

- (1) 伊藤邦武（2012年）『物語 哲学の歴史』中央公論新書
- (2) 学問領域：哲学・倫理学、歴史学
- (3) キーワード：西洋哲学史、魂、意識、言語、生命
- (4) 難易度2
- (5) 西洋哲学史全体を「人間の精神をどのように捉えるか」というテーマを軸に語り切った一冊。一人の哲学者が本格的な哲学研究を踏まえ、このように独自の視点から哲学史全体を語り切った著作は、近年なかなか見当たらない。水準が高いぶんそれなりの難しさはあるが、じっくり読めば、哲学者たちの位置関係が非常にクリアになるはず。
- (6) 推薦者：佐藤慶太（大教センター）

リスト番号：1-4

- (1) 佐々木健一（2019年）『美学への招待 増補版』中央公論新社
- (2) 学問領域：哲学・倫理学、美学、芸術学
- (3) キーワード：美、芸術、近代、センス（感性、感覚）、身体
- (4) 難易度：1
- (5) 「美学」とは、文字通り「美」について考える学問。これを見るときになら難しそうだが、本書は「生活の中の疑問符を拾い上げる」という方法をとっており、前提と

なる知識がなくても、ずっと入っていくことができる。「美学」の知識のみならず日常を見る視点にも変化を与えてくれる良書。

(6) 推薦者：佐藤慶太（大教センター）

リスト番号：1-5

- (1) ジル＝ガストン・グランジェ（2017）『科学の本質と多様性』（訳）松田克進・三宅岳史・中村大介、白水社
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学
- (3) キーワード：科学、真理、進歩、技術、科学認識論
- (4) 難易度2
- (5) 科学とは何か、科学の倫理的問題とは、科学と技術の関係は、科学の限界とは何かといった、科学にまつわる様々な問いをフランス科学哲学の第一人者が解き明かす。コンパクトだが科学をめぐる本格的な哲学的考察。
- (6) 推薦者：三宅岳史（教育学部）

リスト番号：1-6

- (1) 川口茂雄・越門勝彦・三宅岳史編（2020年）『現代フランス哲学入門』ミネルヴァ書房
- (2) 学問領域：哲学・倫理学、歴史学、社会学、芸術
- (3) キーワード：現象学、実存主義、構造主義
- (4) 難易度2
- (5) フランス革命以降から現代までのフランス哲学だけではなく、関連する芸術、社会学、文学、科学などが幅広く取り上げられている。フランス近現代哲学を散歩して、もう少し深く考えてみたいとききっと心強いガイドとなってくれるだろう。
- (6) 推薦者：三宅岳史（教育学部）

リスト番号：1-7

- (1) トマス・ネーゲル（1993年）『哲学ってどんなこと——とっても短い哲学入門』（訳）岡本裕一郎・若松良樹、昭和堂
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学
- (3) キーワード：哲学入門、認識、意味
- (4) 難易度2
- (5) 哲学についての知識を習得するのではなく、哲学の問題がどのようなもので、それがどのように考えられていくかを一緒に体験して、「哲学」をすることがどういうことを示そうとしている本。予備知識は全くいらず、日常的な言葉で書かれているが、著者とともにゆっくりと考えながら読む必要がある。
- (6) 推薦者：石川徹（教育学部）

リスト番号：1-8

- (1) パートランド・ラッセル（2005年）『哲学入門』（訳）高村夏輝、筑摩書房
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学

- (3) キーワード：哲学入門、科学、理性、知識、意味
- (4) 難易度 3
- (5) 100年ほど前に書かれた本であるが、そこに取り上げられた問題は今も哲学的に重要である。特に予備知識はいらないが、議論の密度は濃く、ザッと目を通しただけでは理解できないだろうが、じっくり考えながら読むことができれば、あなたも立派な哲学者である。
- (6) 推薦者：石川徹（教育学部）

リスト番号：1-9

- (1) ヨースタイン・ゴルデル（2011年）『新装版 ソフィーの世界』上下（訳）池田加代子、NHK出版
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学
- (3) キーワード：哲学、西洋哲学史、認識、人間
- (4) 難易度 2
- (5) 14歳の少女ソフィーとともに哲学をミステリー仕立てで学ぶ本で世界的ベストセラーになり映画にもなっている。西洋の哲学の歴史を学びたい人にとって楽しく便利な本です。小説と哲学史の解説部分は別々にも読めますが、小説の構造を考える上で必要な部分もあるので、ソフィーと一緒に読み進んでいくのがよいでしょう。
- (6) 推薦者：石川徹（教育学部）

リスト番号：1-10

- (1) 岩田靖夫（2003年）『ヨーロッパ思想入門』岩波書店
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学
- (3) キーワード：西洋哲学、キリスト教、ギリシア哲学、ギリシア神話
- (4) 難易度 2
- (5) 現在の我々の思想は否応なく、西洋の思想の影響下にある。にもかかわらず、必ずしもなじみがないのが、ギリシア哲学とキリスト教である。本書はこの西洋思想のこの二つの柱について明晰にかつ深く教えてくれる。西洋思想の根本的精神を理解したいと思う人には最良の入門書である。
- (6) 推薦者：石川徹（教育学部）

リスト番号：1-11

- (1) 棚次正和・山中弘（2005年）『宗教学入門』ミネルヴァ書房
- (2) 学問領域：哲学・倫理学、社会学
- (3) キーワード：宗教、宗教体験、社会、グローバル化、民族
- (4) 難易度 1
- (5) 「宗教って何？」という疑問にも、「世界にはどんな宗教があるのかな？」という疑問にも答えてくれる、頼もしい本。「カルト」や「グローバル化」といった現代的なテーマも取り上げており、文献案内も親切。宗教について考えるうえでの有益な手引き。
- (6) 推薦者：佐藤慶太（大教センター）

リスト番号：1-12

- (1) 鹿野政直 (1999年) 『近代日本思想案内』岩波書店
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学、社会学
- (3) キーワード：日本思想、近代化
- (4) 難易度2
- (5) 明治以降から戦後まで日本の激動の歴史の中で日本人がどのようなことを考えてきたのかをアカデミズムから民衆思想まで要領よく整理した良書。教科書の事項の羅列を歴史だと思っている人は、そこに生きた人間の姿を見つけ歴史を学ぶ意義を感じることが出来るかもしれない。
- (6) 推薦者：石川徹 (教育学部)

リスト番号：1-13

- (1) 児玉聡 (2020年) 『実践・倫理学』勁草書房
- (2) 学問領域：哲学・倫理学、法学
- (3) キーワード：死刑、自殺、肉食、災害、法
- (4) 難易度1
- (5) 著者曰く、この本の目的は「水泳の泳ぎ方を身につけると同じような意味で、現代社会における倫理的問題について哲学的に考える仕方を読者に身につけてもらうこと」である。死刑や肉食など、体的な問題をめぐって、賛成派と反対派の論拠を明確に整理した解説が行われる。現代の倫理的問題について情報が豊富で勉強になるが、なによりも倫理学の面白さを伝えてくれる一冊。
- (6) 推薦者：佐藤慶太 (大教センター)

リスト番号：1-14

- (1) ジェームズ・レイチェルズ、スチュアート・レイチェルズ (2017年) 『新版 現実を見つめる道徳哲学』(訳) 古牧徳生・次田憲和、晃洋書房
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学
- (3) キーワード：倫理、文化、医療、フェミニズム、ケア
- (4) 難易度2
- (5) 倫理学とは単なる抽象的な理論ではない、ということがよく分かる一冊。主な倫理学説を的確に紹介しつつ、安楽死、同性愛、中絶などの問題について考察が繰り広げられる。アクチュアルな問題について「自分で考えること」の手引きとなること間違いなし。
- (6) 推薦者：佐藤慶太 (大教センター)

リスト番号：1-15

- (1) 徳永哲也 (2013年) 『ベーシック生命・環境倫理——「生命圏の倫理学」序説』世界思想社
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学
- (3) キーワード：生命倫理、環境倫理、中絶、脳死、世代間倫理
- (4) 難易度2

- (5) 生命倫理と環境倫理の主要な議論を通覧できる本。生命倫理（人工妊娠中絶、安楽死、脳死・臓器移植）や、環境倫理（「自然の権利」、世代間倫理、地球全体主義）の用語や論争が分かりやすく整理・紹介されている。
- (6) 推薦者：斉藤和也（経済学部）

リスト番号：1-16

- (1) 直江清隆・越智貢編（2012年）『高校倫理からの哲学 第1巻 生きるとは』岩波書店
- (2) 学問領域：哲学・倫理学
- (3) キーワード：身体、心、臓器移植、死、環境倫理
- (4) 難易度1
- (5) 高校倫理を出発点として人間について考えるための本。身体、心、臓器移植という三つのテーマをめぐって、人として生きることについて平易なことばで語る。先生と生徒の対話という形で講義を振り返るところが面白い。
- (6) 推薦者：斉藤和也（経済学部）

リスト番号：1-17

- (1) プラトン（2010年）『プロタゴラス』（訳）中澤務、光文社古典新訳文庫
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学
- (3) キーワード：ソクラテス、プロタゴラス、徳、対話、ソフィスト
- (4) 難易度3
- (5) 技術や知識のように、勇気や正義感は教えられるものだろうか。この問いをめぐって、徳の教師を自認する当代きっての知識人プロタゴラスにソクラテスが仕掛けた論戦が描かれる。対話的な哲学の方法がよくわかる本。
- (6) 推薦者：斉藤和也（経済学部）

リスト番号：1-18

- (1) 吉野源三郎（1937年）『君たちはどう生きるか』岩波文庫
- (2) 学問領域：哲学・倫理学
- (3) キーワード：ものの見方、道徳的成長、友人、約束、後悔
- (4) 難易度1
- (5) 交わした約束を守れず、友達を裏切ってしまった少年が、苦しんだ末に立ち直っていく姿を描いた作品。中学の教科書で一部を読んだ人もいるだろうが、一度は通読して欲しい本。多くの人が感動した物語である。
- (6) 推薦者：斉藤和也（経済学部）

リスト番号：1-19

- (1) 道田泰司・宮元博章（1999年）『クリティカル進化論』北大路書房
- (2) 学問領域：哲学・倫理学・論理学、心理学、統計学
- (3) キーワード：思考法、認知心理学、統計
- (4) 難易度1

- (5) 『OL進化論』(秋月りす)の4コマまんがを読みながら、つつい陥りがちな思考の盲点を学べる。とっつきやすい割に中身は本格的で、批判的思考(クリティカル・シンキング)のエッセンスが詰まった一冊だ。
- (6) 推薦者:三宅岳史(教育学部)

リスト番号: 1-20

- (1) 三浦俊彦(2000年)『論理学入門』NHK ブックス
- (2) 学問領域:哲学・倫理学・論理学、物理学、哲学
- (3) キーワード:推論、真理、記号、宇宙論、思考法
- (4) 難易度2
- (5) 前半では論理的な基礎を学びながら、後半では論理学が宇宙論の問題に適用される。また、論理学が認識や私の存在、価値といった哲学的な問題とも深く関わっていることを知ることができる好著である。
- (6) 推薦者:三宅岳史(教育学部)

リスト番号: 1-21

- (1) 戸田山和久(2000年)『論理学をつくる』名古屋大学出版会
- (2) 学問領域:哲学・倫理学・論理学、数学、哲学
- (3) キーワード:人工言語、真理関数、自然演繹
- (4) 難易度3
- (5) 分厚い、大きい、重い、高い…と我々をひるませるのに十分な外観の本だ。しかし、中身を見るとこの印象は逆転。著者の話術も巧みで、しかも丁寧。論理学ってこういうことか!とじっくり考えたい人向きの本だ。
- (6) 推薦者:三宅岳史(教育学部)

リスト番号: 1-22

- (1) 瀧本哲史(2011年)『武器としての決断思考』星海社
- (2) 学問領域:哲学・倫理学・論理学、経営学
- (3) キーワード:ディベート、意思決定、思考法
- (4) 難易度1
- (5) 「留学をすべきか」「内定をもらったけど就活を続けるべき?」そのときに役立つのが意思決定の方法だ。長所と短所を出し、反論し、残ったものを比較する。ディベートの仕方や論文の書き方にも通じる一冊。姉妹書の交渉思考もおすすめ。
- (6) 推薦者:三宅岳史(教育学部)

リスト番号: 1-23

- (1) 野矢茂樹(2020年)『まったくゼロからの論理学』岩波書店
- (2) 学問領域:哲学・倫理学・論理学
- (3) キーワード:日本語、推論
- (4) 難易度2

- (5) こんなに初心者に配慮した論理学の教科書は、自分の本も含めて、これまでにはなかったと思います、と著者は言う。それがその通りかぜひ読者には確かめてほしい。ゼロから始める割には結構遠くまで行くことを誘う野心的な本だ。
- (6) 推薦者：三宅岳史（教育学部）

他分野との関連図書

リスト番号：2-9 深澤直人（2020年）『ふつう』 D&DEPARTMENT PROJECT
詳細は 10 ページを参照のこと

リスト番号：2-10 原研哉（2003年）『デザインのデザイン』岩波書店
詳細は 10 ページ参照のこと

リスト番号：7-3 笠井潔（1993年）『テロルの現象学—観念批判論序説』筑摩書房
詳細は 22 ページを参照のこと

リスト番号：7-8 宇佐美文理（2014年）『中国絵画入門』岩波新書
詳細は 23 ページを参照のこと

2. 芸術

リスト番号：2-1

- (1) 岡田暁生 (2005 年) 『西洋音楽史』 中央公論社
- (2) 学問領域：芸術 (音楽)
- (3) キーワード：キリスト教、美、ドラマ、市民階級
- (4) 難易度 2
- (5) 個々の作曲家や作品にこだわらず、西洋音楽の歴史を、「現代」という混沌とした海に流れ込む川の物語として一気に読み通せることのできる優れた一冊。
- (6) 推薦者：柳井修 (教育学部)

リスト番号：2-2

- (1) 西原稔 (2007 年) 『クラシックでわかる世界史』 アルテスパブリッシング
- (2) 学問領域：芸術 (音楽)
- (3) キーワード：富の集中、宗教、宮廷文化
- (4) 難易度 2
- (5) 音楽の活動は、社会の富の集中の変化に無関係ではあり得ない。作品は、社会のダイナミズムとどのような関係で生み出されたかを浮き彫りにする。
- (6) 推薦者：柳井修 (教育学部)

リスト番号：2-3

- (1) 渡辺護 (1989 年) 『ウィーン音楽文化史』 上下、音楽之友社
- (2) 学問領域：芸術 (音楽)
- (3) キーワード：ウィーン、音楽の精神史
- (4) 難易度 3
- (5) 文化史の観点から音楽を深く考察する。ウィーンは長い年月にわたり高度の文化を維持した都市である。その特性は他の都市にはない非常に濃厚なものである。それは何なのか。
- (6) 推薦者：柳井修 (教育学部)

リスト番号：2-4

- (1) 井島勉 (1969 年) 『美術教育の理念』 光生館、絶版
- (2) 学問領域：芸術 (美術、美術教育)
- (3) キーワード：美術教育の目的、美術教育の原理、美術教育と創造性、技術指導、情操教育
- (4) 難易度 2
- (5) 美術教育の目的、役割、学問体系の中での客観的な位置など、美術教育を志す者にとって欠かせない内容がわかりやすい表現でまとめている。「技術指導のない美術科教育は成功しない」などの指摘に関する項については、現代の美術教育に欠けている視点が多く存在することを気づかせてくれる。美術教育を、情操教育という視点でとらえた場合、時代によって変化しない不変的役割が多く含んでいること等、その重要性を改めて気づかせてくれる一冊である。

(6) : 倉石文雄 (教育学部)

リスト番号：2-5

- (1) 諸川春樹 (1998 年) 『西洋絵画史入門』 美術出版社
- (2) 学問領域：芸術 (美術)
- (3) キーワード：絵画、美術史、絵画鑑賞
- (4) 難易度 1
- (5) ルネサンス以降の流れを中心に、古代、ローマから現代までの西洋絵画をわかりやすく解説してくれる。246 点の掲載作品はオールカラー。
- (6) 推薦者：古草敦史 (教育学部)

リスト番号：2-6

- (1) 高階秀爾 (2010 年) 『誰も知らない「名画の見方」』 小学館
- (2) 学問領域：芸術 (美術)
- (3) キーワード：美の探求、イメージ
- (4) 難易度 1
- (5) 絵画作品にはその鑑賞をより充実させるための見方がある。本書はいくつかのテーマに分類された名画の見方に基づいて、数々の名画を具体的にわかりやすく解説。
- (6) 推薦者：古草敦史 (教育学部)

リスト番号：2-7

- (1) 布施英利 (2006 年) 『君はレオナルド・ダ・ヴィンチを知っているか』 ちくまプリマー新書
- (2) 学問領域：芸術 (美術)
- (3) キーワード：レオナルド・ダ・ヴィンチ、美術と科学
- (4) 難易度 1
- (5) 今もその魅力は輝き続けている芸術家であり、科学者でもあったレオナルド・ダ・ヴィンチ。彼がどれほどの天才であったのか、その足跡を辿る。
- (6) 推薦者：古草敦史 (教育学部)

リスト番号：2-8

- (1) (2011 年) 『何度も読みたい広告コピー』 パイインターナショナル
- (2) 学問領域：芸術学 デザイン学、心理学
- (3) キーワード：広告、グラフィック、ポスター、コピー
- (4) 難易度 0
- (5) 様々な広告の中で、商品や企業コンセプトを伝えるコピー。世の中にはコピーが溢れていますが、中には、何度も読み返したくなるような名コピーが数多くあります。本書では、100 を超える名コピーを紹介しています。デザインはコミュニケーションです。他分野の学会発表、ポスター発表などでも活用できる一冊です。
- (6) 推薦者：南政宏 (創造工学部)

リスト番号：2-9

- (1) 深澤直人 (2020 年) 『ふつう』 D&DEPARTMENT PROJECT
- (2) 学問領域：デザイン学、心理学、哲学、人間行動学、芸術学
- (3) キーワード：プロダクトデザイン、認知科学、デザイン、アフォーダンス
- (4) 難易度 0
- (5) デザインは誤解されている。目立つもの、他とは違うもの。そういうものを作家的に作るのがデザインであると。日本のトッププロダクトデザイナーの深澤氏の考え続けるふつうについて書かれています。デザインの本質に迫る名著です。
- (6) 推薦者：南政宏 (創造工学部)

リスト番号：2-10

- (1) 原研哉 (2003 年) 『デザインのデザイン』 岩波書店
- (2) 学問領域：デザイン学、哲学、心理学、芸術学
- (3) キーワード：グラフィックデザイン、デザイン、
- (4) 難易度 1
- (5) デザインの定義は何か？「デザイン」の意味は年々、拡大し続けている。著者は自身のデザインした事例を元にデザインについて掘り下げている。
- (6) 推薦者：南政宏 (創造工学部)

他分野との関連図書

リスト番号：7-8 宇佐美文理 (2014 年) 『中国絵画入門』 岩波新書

詳細は 23 ページを参照のこと

リスト番号：7-10 吉川忠夫 (2010 年) 『王羲之——六朝貴族の世界』 岩波現代文庫

詳細は 24 ページを参照のこと

3. 心理学

リスト番号：3-1

- (1) エドワード・L・デシ、リチャード・フラスト（1999年）『人を伸ばす力——内発と自律のすすめ』（監訳）桜井茂男、新曜社
- (2) 学問領域：心理学
- (3) キーワード：意欲、モチベーション、自律
- (4) 難易度1
- (5) 大学生活のなかで、「やる気がでないな」と感じることはないだろうか。本書は、人のやる気や意欲の問題について、心理学の研究をもとに解説している。やる気の仕組みについて、本書から大きなヒントを得ることができるかもしれない。
- (6) 推薦者：岡田涼（教育学部）

リスト番号：3-2

- (1) 小塩真司（2011年）『性格を科学する心理学の話——血液型性格判断に別れを告げよう』新曜社
- (2) 学問領域：心理学
- (3) キーワード：性格、パーソナリティ、遺伝
- (4) 難易度1
- (5) 「〇〇型の人って△△だよ」と、血液型と性格を関係づけた言動をよく耳にする。しかし、血液型と性格に本当に関係があるのかということ、アカデミックな視点からじっくり考えさせてくれるのが本書である。
- (6) 推薦者：岡田涼（教育学部）

リスト番号：3-3

- (1) 小塩真司（2013年）『大学生ミライの統計的日常——確率・条件・仮説って？』東京図書
- (2) 学問領域：心理学
- (3) キーワード：心理統計、確率、仮説検証
- (4) 難易度0
- (5) 心理学が文系学問だと思っている人は多い。しかし、実際には統計をよく使う（「心理統計」という言葉もある）。本書では、「心理統計」について1人の大学生のストーリーを通して知ることができる。
- (6) 推薦者：岡田涼（教育学部）

他分野との関連図書

リスト番号：1-19 道田泰司・宮元博章（1999年）『クリティカル進化論』北大路書房
詳細は5ページ参照のこと

リスト番号：2-8 （2011年）『何度も読みたい広告コピー』パイインターナショナル
詳細は9ページ参照のこと

リスト番号：2-9 深澤直人（2020年）『ふつう』D&DEPARTMENT PROJECT
詳細は 10 ページ参照のこと

リスト番号：2-10 原研哉（2003年）『デザインのデザイン』岩波書店
詳細は 10 ページ参照のこと

リスト番号：5-5 河合隼雄（1997年）『子どもと悪』岩波書店
詳細は 18 ページ参照のこと

リスト番号：8-14 スティーブン・ピンカー（1995年）『言語を生み出す本能』上下
（訳）椋田直子、NHK 出版
詳細は 28 ページ参照のこと

リスト番号：8-15 マイケル・トマセロ（2008年）『ことばをつくる——言語習得の認知言語学的アプローチ』（訳）辻幸夫ほか
詳細は 28 ページ参照のこと

4. 社会学

リスト番号：4-1

- (1) 西原和久・油井清光編（2010年）『現代人の社会学・入門——グローバル化時代の生活世界』有斐閣コンパクト
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：現代社会、生活問題、家族、地域、環境問題
- (4) 難易度1
- (5) グローバル化が進む現代社会にあっては、どのような生活問題が生じているのだろうか。家族、地域、観光、まちづくり、環境、福祉などの各テーマから、広く共生社会について考える入門書。30に及ぶコラムがあり、多様な考え方を学ぶことができる。また、各章末には「読書案内」があり、文献紹介が充実していて参考になる。
- (6) 推薦者：時岡晴美（教育学部）

リスト番号：4-2

- (1) 松本康編（2014年）『都市社会学入門』有斐閣
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：都市化、コミュニティ、社会的ネットワーク、まちづくり
- (4) 難易度1
- (5) 都市社会学のベーシックな学説や方法から、最新の議論や事例まで網羅して、「まちづくり」の事例、アジアの都市の現状、阪神および東北の震災復興の動向まで盛り込みながら、都市の現状を読み解いている。リベラルアーツとしての都市社会学であり、「まち」の見方を変える力を持っている。
- (6) 推薦者：時岡晴美（教育学部）

リスト番号：4-3

- (1) 土井文博・萩原修子・嵯峨一郎編（2007年）『はじめて学ぶ社会学——思想家たちとの対話』、ミネルヴァ書房
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：社会的存在、マルクス、テンニース、ウェーバー、パーソンズ
- (4) 難易度2
- (5) 社会学の初学者の諸理論を「思想家たちとの対話」という想定で解説したもの。これから社会学を学ぼうとするとき、原書への入り口となる書といえる。必ずしも「社会学者」ばかりでなく、その思想や実践が社会学的であると認められる者についても紹介されており、関心あるページから読むこともできる。入門書からのちに原書へ手を伸ばし、著者の言葉に触れ、著者の意識を感じることも、学問の深い世界への誘いとなる。
- (6) 推薦者：時岡晴美（教育学部）

リスト番号：4-4

- (1) 広井良典編 (2008 年) 『「環境と福祉」の統合——持続可能な福祉社会の実現に向けて』 有斐閣
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：持続可能性、サステイナブル・シティ、コミュニティ
- (4) 難易度 2
- (5) 従来は縦割りに捉えられてきた「環境」と「福祉」を総合的な視座のもとに統合し、日本・世界がめざすべき新たな社会のビジョンを構想している。国内のみならず、ドイツやオランダなどの政策・事例も紹介されており、問題解決のための提言が示される。特に冒頭の「社会の構想」部分では、「持続可能」な社会の原点やその意味を問い直し、「環境」の面で持続可能で、かつまた「福祉」の面においても望ましいと言いうる社会を構想する方向性が示されており興味深い。
- (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)

リスト番号：4-5

- (1) 若林幹夫 (2014 年) 『未来の社会学』 河出ブックス
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：都市化、コミュニティ、社会的ネットワーク、まちづくり
- (4) 難易度 2
- (5) 現代の社会では、科学には未来を予測することが期待されているが、社会学で対象とするは「未来」ではなく「未来に現れるであろう社会」である。本書では、人間とその社会にとって「未来」とはどのようなものであるのかを社会的に考えるとして、それぞれの社会の過去や現在において考えられてきた未来のあり方を取り上げ、未来をめぐる私たちの意識や思考について考察している。「未来」は私たちのなかに、あるいは私たちの間にある。
- (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)

リスト番号：4-6

- (1) エリック・クリネンバーグ (著)、藤原朝子 (翻訳) (2021 年) 『集まる場所が必要だ——孤立を防ぎ、暮らしを守る「開かれた場」の社会学』 英治出版
- (2) 学問領域：社会学、社会福祉学、住環境学
- (3) キーワード：ケア、地域、交流拠点、高齢者、障がい者
- (4) 難易度 3
- (5) 孤立を防ぎ、暮らしを守る「開かれた場所」とはどのような場所かということが具体的な事例でわかりやすく説明されている。
- (6) 推薦者：中島美登子 (創造工学部)

リスト番号：4-7

- (1) 西上ありさ (2021 年) 『ケアする人のためのプロジェクトデザイン:地域で「何かしたい!」と思ったら読む本』 医学書院
- (2) 学問領域：社会学、社会福祉学、住環境学
- (3) キーワード：ケア、地域、プロジェクトデザイン、高齢者、障がい者
- (4) 難易度 2

- (5) 地域でのケアに関するプロジェクトデザインについて、どのような活動が現在行われているのかについてわかりやすく説明されている。
- (6) 推薦者：中島美登子（創造工学部）

リスト番号：4-8

- (1) 土橋臣吾 他編（2017年第3版）『デジタルメディアの社会学』北樹出版
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：ネット、ケータイ、ゲーム、動画共有サイト、
- (4) 難易度1
- (5) 2022年時点の大学生にとって、デジタルメディアを使いこなすか、振り回されるかを含めて、スマホなどのモバイルは肌身離せないものとなっている。他方、個々人のデジタルメディアとのかかわり方は、周りからは伺い知れない。デジタル化社会で生きることの課題や可能性を考えさせる内容。
- (6) 推薦者：岡本崇宅（アドミッションセンター）

リスト番号：4-9

- (1) 西田亮介 編（2020年）『コロナ危機の社会学』朝日新聞出版
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：感染症、SNS、メディア、日本政府、WHO
- (4) 難易度1
- (5) コロナによるパンデミックは、過去にも世界を恐怖に陥れた。2020年あるいは2019年に感染が拡大し始めてSNSによるデマ拡散、メディアによる不安増殖、政府の迅速な対応など、現代社会の持つ情報発信力が社会にどのような影響を与えたかを整理しており、現代社会を考えさせる著作。
- (6) 推薦者：岡本崇宅（アドミッションセンター）

リスト番号：4-10

- (1) 棚次正和（著）、山中弘（著）（2016年）『大学生のための社会学入門—日本学術会議参照基準対応—』晃洋書房
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：社会学
- (4) 難易度2
- (5) 日本学術会議の参照基準「社会学分野」に対応した章構成、つまり、社会学の授業を構成する標準的内容で、本書は構成されている。社会学の見取り図を描きたい学生にはピッタリの一冊である。
- (6) 推薦者：西本佳代（大学教育基盤センター）

リスト番号：4-11

- (1) 筒井淳也（著）、前田泰樹（著）（2017年）『社会学入門 - 社会とのかかわり方（有斐閣ストゥディア）』有斐閣
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：出生、学ぶ／教える、働く、結婚・家族、病い・老い、死、科学・学問

(4) 難易度 2

(5) タイトル通りの社会学の入門書。「出生」から「死」までを、数量データを使った社会学、質的データを使った社会学の両面から解説する。社会についての「理解」を一つ進める良書である。

(6) 推薦者：西本佳代（大学教育基盤センター）

他分野との関連図書

リスト番号：1-11 棚次正和・山中弘（2005年）『宗教学入門』ミネルヴァ書房
詳細は 3 ページを参照のこと

リスト番号：1-12 鹿野政直（1999年）『近代日本思想案内』岩波書店
詳細は 4 ページを参照のこと

リスト番号：9-4 木村草太（2012年）『キヨミズ准教授の法学入門』星海社新書
詳細は 29 ページ参照のこと

リスト番号：9-5 阿部謹也（1978年）『刑吏の社会史』中公新書
詳細は 30 ページ参照のこと

リスト番号：9-6 杉田敦（2000年）『権力（思考のフロンティア）』岩波書店
詳細は 30 ページ参照のこと

5. 教育学

リスト番号：5-1

- (1) O.F. ボルノウ (2006 年) 『教育を支えるもの』 黎明書房
- (2) 学問領域：教育学
- (3) キーワード：教育的人間関係、教育的雰囲気
- (4) 難易度 2
- (5) ボルノウはドイツの教育哲学者である。原題は『教育的雰囲気』。教育者と子どもの人間関係とその情感的な前提を明らかにする。教育のあり方を根本から考えるために読んでおきたい一冊。
- (6) 推薦者：毛利猛 (教育学部)

リスト番号：5-2

- (1) 広田照幸 (2009 年) 『教育学 (ヒューマニティーズ)』 岩波書店
- (2) 学問領域：教育学
- (3) キーワード：教育学、教育可能性、ポストモダン
- (4) 難易度 1
- (5) 教育は社会のあり方やその変化と無縁ではあり得ない。未来の人間や社会のあり方を考え、そこに働きかけていく営みに向けた知として、いま教育学の何が組み換えられていくべきなのかを考える。
- (6) 推薦者：毛利猛 (教育学部)

リスト番号：5-3

- (1) 志水宏吉 (2010 年) 『学校にできること——一人称の教育社会学』 角川学芸出版
- (2) 学問領域：教育学
- (3) キーワード：学校、階層と教育、学力問題、教育改革
- (4) 難易度 1
- (5) 学校教育はどうあるべきか。そして、学校が備えるべき文化とは何か。長年にわたる学校現場に密着した研究から、「力のある学校」のつくり方を提言している。教育社会学の新たな可能性を切りひらく試み。
- (6) 推薦者：毛利猛 (教育学部)

リスト番号：5-4

- (1) 加野芳正 (2011 年) 『なぜ、人は平気で「いじめ」をするのか？透明な暴力と向き合うために』 日本図書センター
- (2) 学問領域：教育学
- (3) キーワード：ネットいじめ、ヴァルネラビリティ、いじめの四層構造論、モラルパニック論
- (4) 難易度 1
- (5) 感情論やスローガンでは解決できない「いじめ」。「いじめ」の誕生から三度のいじめパニック、そしてそこから生まれた様々な理論までを徹底分析している。いじめ問題を考えるための最初の一冊。

(6) 推薦者：毛利猛（教育学部）

リスト番号：5-5

(1) 河合隼雄（1997年）『子どもと悪』岩波書店

(2) 学問領域：教育学

(3) キーワード：悪と創造、盗み、暴力と攻撃性、うそと秘密

(4) 難易度1

(5) 「いい子」を育てようと、「悪の排除」をすればよいと単純に考えることはできない。

「盗み」「暴力と攻撃性」「うそと秘密」などの章を立てて、子どもの成長と悪の関係を深いところから問い直す。

(6) 推薦者：毛利猛（教育学部）

6. 歴史学

リスト番号：6-1

- (1) 桜井万里子 (2006 年) 『ヘロドトスとトゥキュディデス——歴史学の始まり』山川出版社
- (2) 学問領域：歴史学
- (3) キーワード：歴史、古典、古代ギリシア文化、自由、史料批判
- (4) 難易度 1
- (5) ヨーロッパ文化圏では、ヘロドトスとトゥキュディデスとともに、歴史叙述が始まる。History をはじめて歴史の意味で使ったのはヘロドトス。興味のある人は、さらにヘロドトス『歴史』(岩波文庫)、トゥキュディデス『戦史』(中公クラシックス)を読んで下さい。
- (6) 推薦者：中谷博幸 (教育学部)

リスト番号：6-2

- (1) 宮崎市定 (1996 年) 『史記を語る』岩波文庫
- (2) 学問領域：歴史学
- (3) キーワード：歴史、古典、中国文化、自由
- (4) 難易度 1
- (5) 『史記』は中国最初の正史。その後の中国文化の核をなし、日本文化もこの書に負う所が多い。それ故、様々な分野で取り上げられるが、著者は 20 世紀を代表する歴史家で、歴史としての『史記』の特徴や面白さを縦横に解き明かす。古代ギリシアとの比較も面白い。著者訳の『史記列伝抄』(国書刊行会)もお薦め。
- (6) 推薦者：中谷博幸 (教育学部)

リスト番号：6-3

- (1) 森本公誠 (2011 年) 『イブン＝ハルドゥーン』講談社学術文庫
- (2) 学問領域：歴史学
- (3) キーワード：歴史、古典、イスラム文化、連帯意識、沙漠
- (4) 難易度 2
- (5) イブン＝ハルドゥーンは、14 世紀のイスラム文化圏のスケールの大きい歴史哲学者。なぜ文明の興亡が生じるのか、なぜ権力は墮落するのか。その問題を沙漠を視点にいれ、連帯意識をキーワードに論じる。イスラム文化理解も格段に深めてくれるだろう。興味をもった人はさらにイブン＝ハルドゥーン『歴史序説』(岩波文庫)を読んで下さい。
- (6) 推薦者：中谷博幸 (教育学部)

リスト番号：6-4

- (1) 染田秀藤 (1997 年) 『ラス＝カサス』清水書院
- (2) 学問領域：歴史学
- (3) キーワード：歴史、古典、インディオ、大航海時代、文明

- (4) 難易度 1
- (5) ラス＝カサスは、コロンブスより 23 才若く、16 世紀のスペインの植民地政策を痛烈に批判し、インディオ保護をスペイン王室に訴えた。晩年はインディオ文明がいかに崩壊させられたかを記録して残すため、『インディアス史』（岩波文庫）の叙述に専念した。歴史における記録の意義について教えてくれる。
- (6) 推薦者：中谷博幸（教育学部）

リスト番号：6-5

- (1) 藤澤房俊（1998 年）『「クオーレ」の時代——近代イタリアの子供と国家』
- (2) 学問領域：歴史学
- (3) キーワード：社会史、国民、教育、こども
- (4) 難易度 3
- (5) ベストセラーの児童書『クオーレ』には愛国心の育成や、学校・軍隊という国家装置への帰属意識といった国民形成における至上課題が描かれた。児童文学の描写から国民形成の歴史を考察する社会史の本である。
- (6) 推薦者：武重千尋（非常勤講師）

リスト番号：6-6

- (1) 北村暁夫（2005 年）、『ナポリのマラドーナ——イタリアにおける「南」とは何か』、山川出版
- (2) 学問領域：歴史学
- (3) キーワード：社会史、言説、イメージ
- (4) 難易度 2
- (5) イタリアの「南部問題」に対する差別的なまなざしがどのように生まれたか、歴史的な「言説」を用いて分析する。そして、イタリア近代史上の諸問題を現代のワールドカップから読み解く。
- (6) 推薦者：武重千尋（非常勤講師）

リスト番号：6-7

- (1) 北村暁夫（2010 年）『千のイタリア——多様と豊穡の近代』NHK 出版
- (2) 学問領域：歴史学
- (3) キーワード：多様性、歴史、食文化
- (4) 難易度 1
- (5) イタリアの魅力である文化や景観の地域的多様性が、19 世紀後半から 20 世紀前半の歴史の中でどのように培われ変容したかを、食文化や景観等の様々な視点から分析する。
- (6) 推薦者：武重千尋（非常勤講師）

他分野との関連図書

- リスト番号：1-1 内山勝利・中川純男編（1996 年）『西洋哲学史〔古代・中世編〕』ミネルヴァ書房

詳細は 1 ページ参照のこと

リスト番号：1-2 宗像恵・中岡成文（1995 年）『西洋哲学史〔近代編〕』ミネルヴァ書房
詳細は 1 ページ参照のこと

リスト番号：7-6 興膳宏編（1991 年）『中国文学を学ぶ人のために』世界思想社
詳細は 23 ページ参照のこと

リスト番号：7-7 川合康三（2014 年）『漢詩のレッスン』岩波ジュニア新書
詳細は 23 ページ参照のこと

リスト番号：7-8 宇佐美文理（2014 年）『中国絵画入門』岩波新書
詳細は 23 ページを参照のこと

リスト番号：7-9 井波陵一（2003 年）『知の座標——中国目録学』白帝社
詳細は 24 ページを参照のこと

リスト番号：7-10 吉川忠夫（2010 年）『王羲之——六朝貴族の世界』岩波現代文庫
詳細は 24 ページを参照のこと

リスト番号：9-5 阿部謹也（1978 年）『刑吏の社会史』中公新書
詳細は 30 ページを参照のこと

リスト番号：16-5 ジェイ・バーレサン／ペニー・ルクター（2011 年）『スパイス、
爆薬、医薬品 世界史を変えた 17 の化学物質』中央公論新社
詳細は 44 ページ参照のこと

7. 文学

リスト番号：7-1

- (1) 堀越英美 (2008 年) 『萌える日本文学』 幻冬舎
- (2) 学問領域：文学
- (3) キーワード：萌え、古典文学、近代文学
- (4) 難易度 1
- (5) 日本の古典文学や近代文学を、妹、姉、メイド、ツンデレ、眼鏡っ娘、百合、人外、などのけしからん要素で分類した「文学案内」の本。たとえば、宮澤賢治の「永訣の朝」の萌え要素は、「妹／病弱／方言／知的」だそうである。
- (6) 推薦者：渡邊史郎（教育学部）

リスト番号：7-2

- (1) 柄谷行人 (2008 年) 『日本近代文学の起源』 岩波書店
- (2) 学問領域：文学
- (3) キーワード：風景、内面、告白、病、児童
- (4) 難易度 3
- (5) 今も日本近代文学研究に多大な影響を与えている評論集。内面、風景、告白、病、児童は、すべて「制度」であると論じられており、文学青年である高校生の私にショックを与えた。つべこべ言わずに読むべき本である。
- (6) 推薦者：渡邊史郎（教育学部）

リスト番号：7-3

- (1) 笠井潔 (1993 年) 『テロルの現象学——観念批判論序説』 筑摩書房
- (2) 学問領域：文学、政治学、哲学
- (3) キーワード：テロル、観念
- (4) 難易度 3
- (5) 「テロに対する戦い」とか言いたいのであれば、まず読まなければならない。マルクスやレーニンだけでなく、ドストエフスキー、二葉亭四迷、埴谷雄高などの文学を考える上でも参考になる。テロを考えることは文学を考えることである、かもしれない。
- (6) 推薦者：渡邊史郎（教育学部）

リスト番号：7-4

- (1) 水村美苗 (2015 年) 『増補 日本語が亡びるとき——英語の世紀の中で』 筑摩書房
- (2) 学問領域：文学、言語学
- (3) キーワード：日本語、英語、滅亡、グローバリズム
- (4) 難易度 2
- (5) 漱石「三四郎」の広田先生は「日本より頭の中の方が広いせう」と言う。その「頭」を可能にしたのが〈普遍語〉の翻訳語として創られた近代日本の「国語」であ

る、というのが著者の主張。グローバル人材よりもかかる「頭」の持ち主の方が役に立つのは、自明である。

(6) 渡邊史郎 (教育学部)

リスト番号：7-5

- (1) 穂村弘 (2000年) 『短歌という爆弾』小学館
- (2) 学問領域：文学
- (3) キーワード：短歌、爆弾
- (4) 難易度 2
- (5) 爆弾はつくれなくても短歌俳句なら素人でもつくる。「サバンナの象のうんこよ聞いてくれるいせつないこわいさみしい」といった、すばらしい歌を生み出す穂村氏が、「今すぐ歌人になりたいあなたのために」書いた本。しかし、読んでも歌人になれなかったもので信用ならない。
- (6) 推薦者：渡邊史郎 (教育学部)

リスト番号：7-6

- (1) 興膳宏編 (1991年) 『中国文学を学ぶ人のために』世界思想社、絶版
- (2) 学問領域：文学、歴史学
- (3) キーワード：文学、中国、古典、漢文、ジャンル
- (4) 難易度 1
- (5) 一言に中国文学と言っても、その歴史は長く範囲は広いが、それらを網羅し、しかもわかりやすく紹介してくれているのが本書である。今までの学校漢文では触れられなかった漢文に出会い、さらに探求してみるための契機としては最良の本である。
- (6) 推薦者：池田恭哉 (教育学部)

リスト番号：7-7

- (1) 川合康三 (2014年) 『漢詩のレッスン』岩波ジュニア新書
- (2) 学問領域：文学、歴史学
- (3) キーワード：文学、中国、古典、漢文、解釈、教養
- (4) 難易度 1
- (5) 漢詩の読みは、絶対に一つに決まっているものと思っていないか？本書は漢詩の中でも有名な絶句ばかりを取り上げ、柔軟で多彩な読み方を提示し、文学の味わい方が体感できる。また作者・詩題・内容・後世への影響など、わかりやすく丁寧に解説する。
- (6) 推薦者：池田恭哉 (教育学部)

リスト番号：7-8

- (1) 宇佐美文理 (2014年) 『中国絵画入門』岩波新書
- (2) 学問領域：文学、芸術、哲学、歴史学
- (3) キーワード：文学、中国、芸術、絵画、古典、哲学、気と形

- (4) 難易度 2
- (5) 中国の画家の名前を複数挙げられる人はいるだろうか？本書は、日本絵画に計り知れない影響を及ぼした中国絵画の本質を「気」という枠組みから解明し、画面に表れた「形」と照応させる。図版も名品がたくさんで美しい、中国絵画の入門書。
- (6) 推薦者：池田恭哉（教育学部）

リスト番号：7-9

- (1) 井波陵一（2003年）『知の座標——中国目録学』白帝社
- (2) 学問領域：文学、歴史学、情報科学
- (3) キーワード：中国、目録、書誌、歴史、分類
- (4) 難易度 3
- (5) 我々が本を雑誌、文庫、新書、漫画、参考書と分類するように、昔の中国人も経典、哲学、歴史、文学と本を分類し、その目録を作った。そしてある本を目録のどこに分類するか、ここに学問の在り方が透けて見える。本書はその様相をわかりやすく描出する。
- (6) 推薦者：池田恭哉（教育学部）

リスト番号：7-10

- (1) 吉川忠夫（2010年）『王羲之——六朝貴族の世界』岩波現代文庫
- (2) 学問領域：文学、芸術、歴史学
- (3) キーワード：中国、書道、歴史、教養、貴族
- (4) 難易度 2
- (5) 王羲之は書聖として著名な書道界のビッグネームで、彼の書を解説した本はいくらでもある。だが彼がどのような時代に生き、如何なる生涯を送ったかは、意外と知られていない。書聖・王羲之が誕生した理由を、彼が生きた時代と教養を描きながら焙り出した好著。
- (6) 推薦者：池田恭哉（教育学部）

8. 言語学

リスト番号：8-1

- (1) 町田健 (1999年) 『言語学が好きになる本』 研究社出版
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：コトバ、言語、言語学、日本語、外国語
- (4) 難易度0
- (5) 難解で堅苦しい。もしあなたが言語学にそういう印象をもっているとしたら、この本一冊でその誤解は解けます。おまけに、言語(学)にまつわる通俗的な誤解からも解放されます。脚注のギャグだけは、やや古い。
- (6) 推薦者：品川大輔 (経済学部)

リスト番号：8-2

- (1) 町田健 (2004年) 『町田健のたのしい言語学』 ソフトバンククリエイティブ
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：言語学の研究分野、言語の特性、構造主義言語学、言語形式と意味
- (4) 難易度1
- (5) 『言語学が好きになる本』を楽しめた人は、こちらへ。人間言語の一般原理を探求する言語学＝言語の科学研究の基礎を、たのしく紹介しています。ストーリー仕立てのイラストのおかげで、すらすら読めます。
- (6) 推薦者：品川大輔 (経済学部)

リスト番号：8-3

- (1) 千野栄一 (2002年) 『言語学フォーエバー』 大修館書店
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：伝え合いの言語学、「名前」の言語学、言語の違いと世界の違い、チェコ
- (4) 難易度1
- (5) 日本における言語学の啓蒙者として知られる碩学の、珠玉のエッセイ集。主に欧州の言語や言語現象をテーマにした、各10頁ほどの短篇の中に織り交ぜられたオトナな洒脱さ。言語学はクールな学問でもあります。
- (6) 推薦者：品川大輔 (経済学部)

リスト番号：8-4

- (1) 千野栄一 (2002年) 『言語学——私のラブストーリー』 三省堂
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：言語学の研究分野、近現代言語学史、フィールド言語学
- (4) 難易度2
- (5) 「私の考えでは未知の言語を記述する人が言語学者だと思っている」(同書前書き)。印欧語文献研究の碩学による、フィールド言語学への思いが込められた言語学入門。言語学の研究分野の紹介と、偉大な言語学者の業績解説の二部構成。
- (6) 推薦者：品川大輔 (経済学部)

リスト番号：8-5

- (1) 西江雅之 (1998 年) 『ヒトかサルかと問われても——“歩く文化人類学者” 半生記』読売新聞社
- (2) 学問領域：言語学 (文化人類学)
- (3) キーワード：1960 年代、新宿、アフリカ縦断、ロサンゼルス
- (4) 難易度 0
- (5) こんなぶつとんだ人生があるのかと面喰らうしかない。著者はたしかに超俗の天才であり、こんな生き方を万人ができるわけでは決してない。ただ、「常識」や「世間体」に縛られず自分の意思で歩くことは、あなたにもできるはず。覚悟さえあれば。
- (6) 推薦者：品川大輔 (経済学部)

リスト番号：8-6

- (1) 梶茂樹 (1993 年) 『アフリカをフィールドワークする』大修館書店
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：フィールド言語学、アフリカの言語問題、テンボ人の伝統文化、ザイール (現 DRC) の現代文化
- (4) 難易度 1
- (5) いまだ誰も調査していない「未知の」言語を、一から自分の手で記述して解明する。若き言語学者の知的興奮に満ちたアフリカ調査記。アフリカの現代文化 (と言っても 20 年以上前になってしまったが) に興味がある人にもオススメ。
- (6) 推薦者：品川大輔 (経済学部)

リスト番号：8-7

- (1) 黒田龍之助 (2004 年) 『はじめての言語学』講談社学術新書
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：言語学の研究分野、「その他」の言語、言語学的発想
- (4) 難易度 1
- (5) とかく誤解されがちな言語学という学問分野を、親しみやすい表現でありながら論理的に解説。言語学関連講義で紹介する定番書だが、「この本を読んで講義の内容がすっと頭に入ってきた」といった受講生からの反応が多い。
- (6) 推薦者：品川大輔 (経済学部)

リスト番号：8-8

- (1) アンナ・ヴェジビツカ (2011 年) 『アンナ先生の言語学入門』(訳) 小原雅俊ほか、東京外国語大学出版会
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：言語学の研究分野、記号、二重分節性、語族、言語接触、サピア=ウォーフの仮説
- (4) 難易度 1
- (5) 原著は半世紀前に書かれた言語学のテキストであるが、入門書として基本的な内容をおさえつつ、言語の多様性の価値や思考と言語の関係など、言語学の魅力的なトピックスを、小説を愉しむように学ぶことができる。

(6) 推薦者：品川大輔（経済学部）

リスト番号：8-9

- (1) 風間喜代三（編）（2004年）『言語学（第2版）』東京大学出版会
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：言語理論の基礎、言語学の研究分野、言語類型論、歴史言語学、音声学・音韻論
- (4) 難易度2
- (5) 学部レベルの言語学のテキストとしては、もっとも難易度の高い部類のものだが、言語学の中心領域を過不足なくカバーし、内容の充実度も非常に高い（とくに音声学が詳しいのがよい）。言語学を、学問としてより深く理解したいという人に。
- (6) 推薦者：品川大輔（経済学部）

リスト番号：8-10

- (1) 佐久間淳一・加藤重広・町田健（2004年）『言語学入門——これから始める人のための入門書』研究社
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：言語学の研究分野
- (4) 難易度1
- (5) 日本語で書かれた言語学の入門書（ないし学部レベルの教科書）としては、もっとも読みやすい部類のものでありながら、基本的な内容が質量ともにバランスよく身につくように構成されている。「言語学入門」の予習復習に最適。
- (6) 推薦者：品川大輔（経済学部）

リスト番号：8-11

- (1) 西江雅之（2012年）『新「ことば」の課外授業』白水社
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：コミュニケーション、ことば、ことばの意味、ことばと世界の Kategorisierung、言語と音声
- (4) 難易度1
- (5) 言語学の入門書にありがちな「システムとしての言語」という「人間不在」の視点からではなく、「ヒトのコミュニケーション手段としての言語」という広い視点で、世界の多様な地域の言語と文化の面白さを縦横に語る。
- (6) 推薦者：品川大輔（経済学部）

リスト番号：8-12

- (1) デイヴィッド・クリスタル（1992年）『言語学百科事典』（監訳）風間喜代三・長谷川欣佑、大修館書店
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：言語とアイデンティティ、言語の構造、言語の媒体（メディア）、言語習得、世界の言語

- (4) 難易度 1 (5) 言語と言語学に関わる基本的な事項が、網羅的に分かりやすく説明されている。何より価値があるのは、写真や図表がふんだんに用いられていること。言語の習得の問題など、入門書ではカバーしきれない内容が扱われているのもよい。
- (6) 推薦者：品川大輔（経済学部）

リスト番号：8-13

- (1) 定延利之（2008年）『煩惱の文法——体験を語りたがる人びとの欲望が日本語の文法システムをゆさぶる話』ちくま新書
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：文法、知識と体験、「煩惱」、日本語、認知
- (4) 難易度 1
- (5) 「庭で椅子があった」は日本語として“間違っている”のに、「北京で四色ボールペンがあったんです！」はなぜか違和感がない。「固定的な規範」としての「文法」では割り切れない言語現象をマジメに分析します。マジメなのにおもしろい。
- (6) 推薦者：品川大輔（経済学部）

リスト番号：8-14

- (1) スティーブン・ピンカー（1995年）『言語を生み出す本能』上下、(訳) 椋田直子、NHK 出版
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：言語獲得、プラトンの問題、言語の生得性、生成文法理論、普遍文法
- (4) 難易度 3
- (5) 「周囲の言葉を聞いて真似して覚える」というそれまで信じられていた母語獲得に関する素朴な誤解を、生成文法理論を武器に正面からぶった切った本。(勇み足もあるが) 言語生得説の大枠と科学の痛快さを実感できる。
- (6) 推薦者：品川大輔（経済学部）

リスト番号：8-15

- (1) マイケル・トマセロ（2008年）『ことばをつくる——言語習得の認知言語学的アプローチ』(訳) 辻幸夫ほか
- (2) 学問領域：言語学
- (3) キーワード：言語獲得、心の理論、カテゴリー化、運用基盤理論
- (4) 難易度 3 (5) ピンカーの上掲書の衝撃からおよそ十年。言語獲得研究の世界では、さらなるパラダイム・チェンジが図られた。新たな理論の名は、Usage Based Theory (運用基盤理論)。ちなみに本書の帯は、「言語は本能ではなかった！」。
- (6) 推薦者：品川大輔（経済学部）

他分野との関連図書

リスト番号：7-4

水村美苗（2008年）『日本語が亡びるとき——英語の世紀の中で』筑摩書房

詳細は 22 ページを参照のこと

9. 法学

リスト番号：9-1

- (1) 初宿正典・高橋正俊・米沢広一・棟居快行（2014年）『いちばんやさしい憲法入門 [第4版補訂版]』有斐閣
- (2) 学問領域：法学（憲法）
- (3) キーワード：日本国憲法、基本的人権、国会、内閣、裁判所
- (4) 難易度1
- (5) 大学で初めて憲法を学ぶ人のために、いちばん易しいと同時にいちばん優しく、憲法に係る話題を読者といっしょに考えてみようという姿勢で書かれた入門書。
- (6) 推薦者：新井信之（法学部）

リスト番号：9-2

- (1) 横藤田誠・中坂恵美子（2011年）『人権入門 憲法/人権/マイノリティ [第2版]』法律文化社
- (2) 学問領域：法学（憲法）
- (3) キーワード：憲法、人権、マイノリティ、弱者
- (4) 難易度2
- (5) 大学で「人権」について学ぶための身近な材料を提供してくれている。社会のあり方が「弱者」を作り出しており、誰もが人権侵害の被害者になりうる可能性があることを踏まえて、わかりやすく人権保障について語っている。
- (6) 推薦者：新井信之（法学部）

リスト番号：9-3

- (1) 二宮周平（2007年）『家族と法——個人化と多様化の中で』岩波書店
- (2) 学問領域：法学（民法、家族法）
- (3) キーワード：子ども、家族、法、現代社会、人権
- (4) 難易度3
- (5) 日本における子どもと家族を取り巻く法制度や枠組みについて考える。日本国憲法24条の「個人の尊厳と両性の本質的平等」を至上の価値として、現代社会における家族の多様について学ぶことができる。
- (6) 推薦者：新井信之（法学部）

リスト番号：9-4

- (1) 木村草太（2012年）『キヨミズ准教授の法学入門』星海社新書
- (2) 学問領域：法学
- (3) キーワード：法律、社会学
- (4) 難易度1
- (5) 対話形式で法学の考え方を分かりやすく説いた一冊。法学部生以外にこそ一度法学の思考法（法的三段論法など）を学んでほしい。

リスト番号： 9-5

- (1) 阿部謹也 (1978 年) 『刑吏の社会史』 中公新書
- (2) 学問領域：社会学、歴史学、法学
- (3) キーワード：ヨーロッパ中世史、犯罪、刑罰、裁判制度
- (4) 難易度 2
- (5) 人々の犯罪や刑罰に対する捉え方が、時代や社会によって異なるものであることを知り、それらが実際の制度に与える影響を考える際に格好の 1 冊。宗教や歴史（特に中世史）に興味がある学生にもお勧め。

リスト番号： 9-6

- (1) 杉田敦 (2000 年) 『権力 (思考のフロンティア)』 岩波書店
- (2) 学問領域：政治学、社会学、法学
- (3) キーワード：権力、主権、自由、社会
- (4) 難易度 2
- (5) 現在まで権力がどう捉えられてきたのかについて、主要な思想家を挙げながら紹介している。権力とは、強制によって他者を支配することである、と考えている人には是非読んでみて欲しい。

リスト番号： 9-7

- (1) 小畑郁 (2022 年) 『地球上のどこかに住む権利—現代公法学へのエチュード』 信山社
- (2) 学問領域：法学 (公法学、国際法学)
- (3) キーワード：国際人権、グローバル化、退去強制、国連、国籍
- (4) 難易度 3
- (5) 一流の国際法学者が国際人権の観点からみた、現代社会への問題提起が、1 冊の新書にぎゅっと凝縮されています。現代社会に埋もれる「当たり前」を、当たり前ではないかもしれないと気づかせてくれる本です。論文執筆のための思考方法も解説されています。
- (6) 推薦者：杉木志帆 (教育学部)

他分野との関連図書

リスト番号： 10-1

- 小熊英二 (2012 年) 『社会を変えるには』 講談社現代新書
詳細は 31 ページ参照のこと

10. 政治学

リスト番号：10-1

- (1) 小熊英二 (2012 年) 『社会を変えるには』 講談社現代新書
- (2) 学問領域：政治学、法学
- (3) キーワード：民主主義、自由民主主義、社会運動
- (4) 難易度 2
- (5) 現代国家の民主主義は代議制という手段を通して実現されている。しかし、その手段は我々の意思を効果的に反映しているだろうか。本書は戦後日本の社会運動と現代の民主主義理論を分析しながら、その対案を探っていく。
- (6) 推薦者：金宗郁 (法学部)

リスト番号：10-2

- (1) 佐々木毅 (2012 年) 『民主主義という不思議な仕組み』 ちくまプリマー新書
- (2) 学問領域：政治学
- (3) キーワード：民主主義、代表と代理
- (4) 難易度 1
- (5) 理想となる民主主義とは何か？それは存在しうるものであろうか？もし、理想的な民主主義が難しいのであれば、現実の民主主義を「より良い」民主主義に近づけるには、どうすればよいか？本書はこれらの問いに関して基礎からわかりやすく解説している。
- (6) 推薦者：金宗郁 (法学部)

リスト番号：10-3

- (1) 稲葉陽二 (2014 年) 『ソーシャル・キャピタル入門——孤立から絆へ』 中公新書
- (2) 学問領域：政治学
- (3) キーワード：社会関係資本、信頼、互酬性、ネットワーク
- (4) 難易度 1
- (5) ロバート・D・パットナムの『哲学する民主主義』(1993、Making Democracy Work) が出版されてから、社会関係資本は多岐にわたって愛用されている概念の一つである。本書は社会関係資本について分かりやすく説明するとともに、経済的格差との関係を興味深く述べている。関心のある学生にはパットナムの本も薦めたい。
- (6) 推薦者：金宗郁 (法学部)

リスト番号：10-4

- (1) トマ・ピケティ (2014 年) 『21 世紀の資本』(訳) 山形浩生、みすず書房
- (2) 学問領域：経済学、政治学
- (3) キーワード：格差、資本収益率、資本税
- (4) 難易度：3
- (5) 資本主義において格差と不平等は解決できない問題だろうか。この本質的な課題について膨大なデータを通して分析し、大胆な提案を行った話題の本。資本収益率

は常に経済成長率を上回っているので、格差は広がっていく。だから画期的な課税制度を通して不平等を緩和すべきだという主張に注目したい。

(6) 推薦者：金宗郁（法学部）

リスト番号：10-5

- (1) J. S. ミル（2012年）『自由論』（訳）齊藤悦則、光文社
- (2) 学問領域：政治学
- (3) キーワード：個人の自由、言論の自由
- (4) 難易度2
- (5) 民主主義と自由は不可分の関係である。政治的自由主義に関する古典とも言われるミルの自由論は、最も読まれる大衆書である。古典は時代を超えて我々に与えてくれるものが多い。
- (6) 推薦者：金宗郁（法学部）

リスト番号：10-6

- (1) 坂井豊貴（2015年）『多数決を疑う——社会的選択理論とは何か』岩波新書
- (2) 学問領域：経済学、政治学、数学
- (3) キーワード：投票制度、社会選択、意思決定、集合的決定、パラドックス
- (4) 難易度0
- (5) 投票制度をはじめとする集団的意思決定システムの特徴や限界を数学的に抉り出す分野である「社会選択理論」を数学抜きで紹介。歴史や思想的背景にも触れつつ、有名な「アローの不可能性定理」の位置付けも示す。
- (6) 推薦者：三原麗珠（図書館）

他分野との関連図書

リスト番号：7-3 笠井潔（1993年）『テロルの現象学——観念批判論序説』筑摩書房

詳細は 22 ページを参照のこと

リスト番号：9-6 杉田敦（2000年）『権力（思考のフロンティア）』岩波書店

詳細は 30 ページ参照のこと

リスト番号：13-7 渡辺隆裕（2004年）『図解雑学ゲーム理論』ナツメ社

詳細は 39 ページを参照のこと

11. 経済学

リスト番号：11-1

- (1) グレゴリー・マンキュー (2014年) 『マンキュー入門経済学 (第2版)』 (訳) 足立英之ほか、東洋経済新報社
- (2) 学問領域：経済学
- (3) キーワード：経済学
- (4) 難易度2
- (5) いま世界で一番読まれている、経済学の入門テキスト (図書の帯より)。難関大学の指定テキストでありながら、初学者にもわかるように懇切丁寧に解説したこの1冊で、経済学のエッセンスを学びましょう！
- (6) 推薦者：持田めぐみ (経済学部)

リスト番号：11-2

- (1) 一橋大学経済学部編 (2013年) 『教養としての経済学——生き抜く力を培うために』、有斐閣
- (2) 学問領域：経済学
- (3) キーワード：経済学、教養、人生
- (4) 難易度0
- (5) 「経済学とはどのような学問なのか？」という疑問に対して一橋大学経済学部の教員たちが平易な言葉で解説。特に、「なぜ学ぶのか？」といった問いに答えている第4章は、ぜひ読んでもらいたい。
- (6) 推薦者：宮崎浩一 (経済学部)

リスト番号：11-3

- (1) 大竹文雄 (2005年) 『経済学的思考のセンス—お金がない人を助けるには』 中公新書
- (2) 学問領域：経済学
- (3) キーワード：インセンティブ、リスク、所得の格差・不平等
- (4) 難易度0
- (5) 「お金がない人を助けるにはどうすればいいか？」という小学生の質問に対して、「インセンティブ」をキーワードに解決法を探っていきます。これを読めば、「なぜあなたが嫌いな試験を先生はわざわざするのか？」の答えも見つかるはず！
- (6) 推薦者：宮崎浩一 (経済学部)

リスト番号：11-4

- (1) 梶井厚志 (2006年) 『故事成語でわかる経済学のキーワード』 中公新書
- (2) 学問領域：経済学
- (3) キーワード：故事成語、経済学的思考
- (4) 難易度1
- (5) ことわざと身近なケース・スタディを素材にを使って、現代経済学の考え方とキーワードを解説したエッセイ。「覆水盆に返らず」と「サンク・コスト」、「青は藍より出でて藍より青し」と「インセンティブ」など。

(6) 推薦者：星野良明（経済学部）

リスト番号：11-5

- (1) 飯田泰之（2012年）『思考の「型」を身につけよう——人生の最適解を導くヒント』朝日新書
- (2) 学問領域：経済学
- (3) キーワード：ロジカルシンキング、経済学的思考
- (4) 難易度1
- (5) 経済学が特徴とする「型にはまった思考法」とは何か。経済学っぽい思考の型を説明して、日常生活やビジネスで役立つ技を紹介。
- (6) 推薦者：星野良明（経済学部）

リスト番号：11-6

- (1) 伊藤秀史（2012年）『ひたすら読むエコノミクス』、有斐閣、1728円
- (2) 学問領域：経済学
- (3) キーワード：意思決定、ゲーム理論、市場、インセンティブ、リスク
- (4) 難易度1
- (5) ミクロ経済学のエッセンスを、難しい数式もグラフも用いず、平易な文章を「ひたすら読む」ことで理解できるように解説した入門書。「ラーメン屋の価格設定」や「レストランになぜ行列ができるのか」といった多数の事例をわかりやすく解説している。「マーケットデザイン」などの近年の研究トピックもカバーしている。
- (6) 推薦者：天谷研一（経済学部）

同書はお二人の先生から推薦をいただいています

- (5) 図表を排して言葉のみによる説明に徹した、テキスト以前の入門書。通読することでミクロ経済学の全体像を把握できる。これから経済学を学ぼうとするすべての学生に読んでもらいたいコンパクトな一冊。
- (6) 推薦者：三原麗珠（大学図書館）

リスト番号：11-7

- (1) 日本経済新聞社編（2014年）『身近な疑問が解ける経済学』日経文庫、日本経済新聞出版社
- (2) 学問領域：経済学
- (3) キーワード：ゲーム理論、行動経済学、リスク、交通、医療
- (4) 難易度1
- (5) 経済学の研究対象は幅広く、身の回りで起きている現象を読み解く際に有用なアイデアをたくさん提供してくれます。本書では、11人の経済学者が「ゲーム理論」「行動経済学」「機会費用」「リスクと期待」など、専門分野のエッセンスを、子供の宿題やダイエットといった具体例を織り交ぜて、わかりやすく解説します。
- (6) 推薦者：天谷研一（経済学部）

リスト番号：11-8

- (1) 神取道宏 (2014 年) 『マイクロ経済学の力』 日本評論社
- (2) 学問領域：経済学
- (3) キーワード：マイクロ経済学, ゲーム理論, 情報の経済学, 市場
- (4) 難易度 1
- (5) ミクロ経済学の標準テキストでありながら、読ませるストーリー展開を持つ。現実例の分析も詳しい。「経済学の本質的な内容を『一から、かなり高度な内容まで、これだけ読めば必ずわかる』ように特別に工夫して書かれた」一冊。
- (6) 推薦者：三原麗珠 (図書館)

他分野との関連図書

リスト番号：10-4 トマ・ピケティ (2014 年) 『21 世紀の資本』 みすず書房
詳細は 31 ページを参照のこと

リスト番号：13-7 渡辺隆裕 (2004 年) 『図解雑学ゲーム理論』 ナツメ社
詳細は 39 ページを参照のこと

リスト番号：13-8 天谷研一 (2011 年) 『図解で学ぶゲーム理論入門』 日本能率協会マネジメントセンター
詳細は 39 ページを参照のこと

リスト番号：18-5 山本健児 (2005 年) 『経済地理学入門 (新版)』 原書房
詳細は 52 ページを参照のこと

12. 経営学

リスト番号：12-1

- (1) 濱口桂一郎 (2013年) 『若者と労働——「入社」の仕組みから解きほぐす』中公新書ラクレ
- (2) 学問領域：経営学
- (3) キーワード：日本的雇用システム、若年雇用問題、非正規労働
- (4) 難易度2
- (5) 本書は近年の若者の雇用問題に対する政策提言を行っています。ただし、本書は日本的雇用システムの本質的特徴を見事につかんでいるため、若者問題に限らず日本の雇用問題を幅広く理解することにつながります。高度な内容も含まれていますが、平易な文章表現がなされており初心者でもそれなりに学ぶことができます。
- (6) 推薦者：青木宏之 (経済学部)

リスト番号：12-2

- (1) 板倉宏昭 (2010年) 『経営学講義』勁草書房
- (2) 学問領域：経営学
- (3) キーワード：組織と経営、地域と経営、競争優位性、経営戦略
- (4) 難易度2
- (5) 本書は、経営学を初めて学ぶ人のために書かれた概要書です。経営学を学ぶうえで、必要となる考え方を解説し、基礎的理解に重点を置いています。とくに経営に関する基本概念のうち、市場、組織及び地域を巡る基本的な考え方を中心にまとめたものです。

リスト番号：12-3

- (1) 丹羽清 (2010年) 『イノベーション実践論』東京大学出版会
- (2) 学問領域：経営学
- (3) キーワード：イノベーション、マーケティング、創造的破壊、非連続変化、セミ・オープンイノベーション
- (4) 難易度2
- (5) 本書はイノベーション（革新）をいかに効果的に実施すべきか、その方向性と実践上の指針を与えることを目的としています。ここでのイノベーションとは従来軌道の変更、あるいは、創造的破壊を意味しています。
- (6) 推薦者：板倉宏昭 (地域マネジメント研究科)

リスト番号：12-4

- (1) 板倉宏昭・木全晃・大西平・河内一芳・今井慈郎 (2009年) 『ネットワーク化が生み出す地域力』白桃書房
- (2) 学問領域：経営学
- (3) キーワード：地場産業、地域医療、情報ネットワーク、テレワーク、マルチメディア情報ネットワーク
- (4) 難易度2
- (5) 地域格差に対する懸念が広がっている中、地方圏でも成長している地域や企業はあります。地域力のためには、地域の発想や工夫による取り組みが必要となります。そうした地域の発展に関心がある人へ勧める一冊です。

リスト番号：12-5

- (1) アレックス・オスターワルダー、イヴ・ピニユール (2012年) 『ビジネスモデル・ジェネレーション——ビジネスモデル設計書』(訳) 小山龍介、翔泳社
- (2) 学問領域：経営学
- (3) キーワード：ビジネスモデル・ジェネレーション、ビジネスモデル・キャンパス、起業家
- (4) 難易度 2
- (5) 典型的な戦略やマネジメントの本とは違い、「戦略的思考を経営化した画期的なフレームワーク」、「ビジネスモデル・キャンパス」を使った斬新な発想法など、古いモデルに対して疑問を投げかけ、答えを示すことを目指した一冊です。
- (6) 推薦者：板倉宏昭 (地域マネジメント研究科)

他分野との関連図書

リスト番号：1-22 瀧本哲史 (2011年) 『武器としての決断思考』星海社
詳細は 6 ページ参照のこと

13. 数学

リスト番号：13-1

- (1) 新井紀子・新井敏康 (2009年) 『計算とは何か』 東京図書
- (2) 学問領域：数学
- (3) キーワード：計算、アルゴリズム、極限
- (4) 難易度1
- (5) 教科書に載っている円周率や $\sin 1^\circ$ の値はどのように求められたか考えたことがあるだろうか。なぜこれまで教わってきた計算方法で正しい答が得られるか、そもそも「計算できる」とはどういうことかを考える本。

リスト番号：13-2

- (1) 畑村洋太郎 (2010年) 『直観でわかる微分積分』 岩波書店
- (2) 学問領域：数学
- (3) キーワード：微分積分
- (4) 難易度0
- (5) 絵を多用して微積分の意味を(タイトルの通り)直観的に説明している本。高校生のとき公式は覚えただけ意味は全く分からなかった、という人におすすめ。

リスト番号：13-3

- (1) 高木貞治 (2010年) 『定本 解析概論』 岩波書店
- (2) 学問領域：数学
- (3) キーワード：解析学、微積分
- (4) 難易度3
- (5) 「高木の解析概論」として知られる解析学の名著を、著者の没後50年を記念して読みやすく組み直し定本とする。刊行以来70年以上にわたって読み継がれ、その後の微分積分学入門書のお手本となった。

リスト番号：13-4

- (1) 寺沢寛一 (1983年) 『自然科学者のための数学概論 増補改訂版』 岩波書店
- (2) 学問領域：数学
- (3) キーワード：微積分、複素関数論、微分方程式、特殊関数
- (4) 難易度3
- (5) 「寺沢の数学概論」として親しまれてきた本書は、応用数学の基礎全般を扱った最適な指導書として長年にわたって不動の位置を占めている。実関数の微積分から、古典微分幾何、複素関数論、微分方程式の解法などを詳説。

リスト番号：13-5

- (1) ウィリアム・フェラー、(1960・1961年) 『確率論とその応用 1』 上下、(監訳) 河田龍夫、紀伊國屋書店
- (2) 学問領域：数学
- (3) キーワード：確率、確率過程
- (4) 難易度3
- (5) W. Feller, An Introduction to Probability Theory and Its Application の翻訳。初版は 1950

年に出版され、全世界で高く評価され、今では非常に有名な確率論の本。

リスト番号：13-6

- (1) 斎藤正彦 (1966 年) 『線型代数入門』
- (2) 学問領域：数学
- (3) キーワード：線形代数、ベクトル、行列
- (4) 難易度 3
- (5) 線型代数の最も標準的なテキスト。平面および空間のベクトル、行列、行列式、線型空間、固有値と固有ベクトル等 7 章の他、附録をつけ線型代数の技術が習熟できる。各章末に演習問題があり、巻末に略解を付す。

リスト番号：13-7

- (1) 渡辺隆裕 (2004 年) 『図解雑学ゲーム理論』 ナツメ社
- (2) 学問領域：経済学、政治学、数学
- (3) キーワード：ゲーム理論、情報の経済学、戦略、論理的思考
- (4) 難易度 0
- (5) 互いに影響をおよぼしあう複数のひとびとの意思決定をあつかう分野であるゲーム理論の入門書。図解豊富で気軽に読め、おもしろい例も多い。推薦者担当の学問基礎科目「数学 B」でメインテキストとして採用。
- (6) 推薦者：三原麗珠 (図書館)

リスト番号：13-8

- (1) 天谷研一 (2011 年) 『図解で学ぶゲーム理論入門』 日本能率協会マネジメントセンター
- (2) 学問領域：経済学、数学
- (3) キーワード：ゲーム理論、情報の経済学、戦略、論理的思考
- (4) 難易度 0
- (5) 互いに影響をおよぼしあう複数のひとびとの意思決定をあつかう分野であるゲーム理論の入門書。モデルや均衡の意味など、考え方に重点を置いている。著者は香川大学経済学部で教えるゲーム理論家。
- (6) 推薦者：三原麗珠 (図書館)

他分野との関連図書

リスト番号：1-21

戸田山和久 (2000 年) 『論理学をつくる』 名古屋大学出版会
詳細は 6 ページ参照のこと

リスト番号：10-6

坂井豊貴 (2015 年) 『多数決を疑う—社会的選択理論とは何か』 岩波新書
詳細は 32 ページ参照のこと

14. 地球科学

リスト番号：14-1

- (1) 丸山茂徳、磯崎行雄 (1998 年) 『生命と地球の歴史』 岩波書店
- (2) 学問領域：地球科学
- (3) キーワード：地球史、プレートテクトニクス、プルームテクトニクス
- (4) 難易度 2
- (5) 巨大隕石の落下が相次ぎ、核、マントル、海洋、大気が作られていった初期地球。中央海嶺で熱水から栄養をもらって誕生した初期生命。変動する地球と生命とは、密接な関係をもちながら現在まで歴史を刻んできた。地球 46 億年、生命 40 億年の新たな変遷像。
- (6) 推薦者：寺林優 (創造工学部)

リスト番号：14-2

- (1) 鎌田浩毅 (2014 年) 『地震と火山』 学研パブリッシング
- (2) 学問領域：地球科学
- (3) キーワード：地震、火山、噴火
- (4) 難易度 2
- (5) 2011 年の東日本大震災をきっかけに、日本列島は「いつ、どこで」地震と噴火が起きてもおかしくない活動期に入り、まさに千年ぶりの「大地変動の時代」が始まった。新たに危惧される震源域、火山活動を、カラー図解で徹底解説。
- (6) 推薦者：寺林優 (創造工学部)

リスト番号：14-3

- (1) 都城秋穂 (1998 年) 『科学革命とは何か』 岩波書店
- (2) 学問領域：地球科学
- (3) キーワード：科学革命、パラダイム
- (4) 難易度 2
- (5) 科学革命とかパラダイムという言葉は、学問や思想上の議論をするときに用いられ、主に物理学の歴史の分析によって確立された。地質学で常に革新的な研究をしてきた著者が、この捉え方が他の学問分野でも成り立つか、さらにパラダイム説を超える科学革命の新しい考え方を提唱。
- (6) 推薦者：寺林優 (創造工学部)

リスト番号：14-4

- (1) 小倉義光著、(1999) 『一般気象学』 第 2 版、東京大学出版会
- (2) 学問領域：地球科学
- (3) キーワード：気象
- (4) 難易度 3
- (5) 気象学の諸分野を網羅した最も基本的な学部専門基礎レベルの教科書。
- (6) 推薦者：寺尾徹 (教育学部)

リスト番号：14-5

- (1) 古川武彦・大木勇人著 (2011) 『図解・気象学入門——原理からわかる雲・雨・気温・風・天気図』講談社ブルーバックス
- (2) 学問領域：地球科学
- (3) キーワード：気象、気圧、ジェット気流
- (4) 難易度1
- (5) 気象に関する様々な疑問に答える形で気象学の基本が身に付く読み物。この手の読み物の中では特に説明が科学的になされている点でおすすめできる。
- (6) 推薦者：寺尾徹（教育学部）

他分野との関連図書

リスト番号：18-6 松山洋ほか (2014年) 『自然地理学』ミネルヴァ書房

詳細は 52 ページを参照のこと。

15. 物理学

リスト番号：15-1

- (1) ロバート・P・クリース (2006年) 『世界でもっとも美しい10の科学実験』(訳) 青木薫、日経BP社
- (2) 学問領域：物理学、科学一般
- (3) キーワード：物理学実験、ガリレオ、ニュートン、ミリカン、ラザフォード
- (4) 難易度1
- (5) 世界を変えた物理学のもっとも美しい実験のベスト10を背景、概要を説明し、美しさのポイントを披露。
- (6) 推薦者：高橋尚志 (教育学部)

リスト番号：15-2

- (1) 朝永振一郎 (1979年) 『物理学とは何だろうか』上下、岩波書店
- (2) 学問領域：物理学
- (3) キーワード：物理学入門
- (4) 難易度0
- (5) 現代文明を築きあげた基礎科学の一つである物理学という学問の成り立ちからひもとき、その発展の道筋を明らかにする、物理のあの先生もこの先生も一度は読んだ古典的名著。
- (6) 推薦者：高橋尚志 (教育学部)

リスト番号：15-3

- (1) ジャレド・ダイアモンド (2000年) 『銃・病原菌・鉄』上下、(訳) 倉骨彰、草思社
- (2) 学問領域：科学一般
- (3) キーワード：最終氷河期、武器、食料、免疫
- (4) 難易度1
- (5) 物理学ではありませんが現在の世界のありようが何によって影響を受けてきたのかを自然科学的な手法で考察されています。同時に科学・技術における優劣が残酷なほど大きな結果の違いをもたらすことを示しています。
- (6) 推薦者：小柴俊 (創造工学部)

リスト番号：15-4

- (1) 新田英雄・工藤知草 (2005年) 『Excelで学ぶやさしい量子力学』オーム社
- (2) 学問領域：物理学 (量子力学)
- (3) キーワード：Excel、量子力学、数値計算
- (4) 難易度1
- (5) PC買うとおまけでついてくるExcelであのどっつきにくい「量子力学」を計算し視覚的にみせてくれます。
- (6) 推薦者：小柴俊 (創造工学部)

リスト番号：15-5

- (1) 鈴木肇 (2006年) 『Excelで学ぶ微分方程式』オーム社
- (2) 学問領域：物理学、微分方程式

- (3) キーワード：Excel、微分方程式、数値計算
- (4) 難易度 1
- (5) PC 買うとおまけでついてくる Excel で大学数学の最初の難関である「微分方程式」を遊び倒します。
- (6) 推薦者：小柴俊（創造工学部）

リスト番号：15-6

- (1) ウォルター・ルーウィン（2012 年）『これが物理学だ!——マサチューセッツ工科大学「感動」講義』（訳）東江一紀、文藝春秋
- (2) 学問領域：物理学
- (3) キーワード：力，光，電気，磁気，宇宙
- (4) 難易度 1
- (5) マサチューセッツ工科大学で人気 No.1 となった授業を本にしたもので、世界的ベストセラーとなった。鉄球を用いたエネルギー保存則の説明はテレビやネットで見たことがある人も多いかと思う。
- (6) 推薦者：鶴町徳昭（創造工学部）

リスト番号：15-7

- (1) Tony Hey, Patrick Walters（2007 年）『新 目で楽しむ量子力学の本——古典から量子論・量子工学・量子情報へ』（訳）大場一郎、丸善
- (2) 学問領域：物理学
- (3) キーワード：量子力学、量子情報
- (4) 難易度 2
- (5) わかりづらいと言われる量子力学の世界を数式は用いずに、イラストや写真を多用して「目で楽しむ」ことを目指した本。少しでも量子の世界が身近になるように。
- (6) 推薦者：鶴町徳昭（創造工学部）

他分野との関連図書

リスト番号：1-20 三浦俊彦（2000 年）『論理学入門』NHK ブックス

詳細は 6 ページ参照のこと

16. 化学

リスト番号：16-1

- (1) 松岡勝彦 (2011 年) 『商品から学ぶ化学の基礎』 化学同人
- (2) 学問領域：化学
- (3) キーワード：化学、身の回りの物質
- (4) 難易度 1
- (5) 本書は文系大学生向けの化学入門を目的とした教科書とあるが、肩肘張らずに楽しんで読める。身の回りの物質と化学知識のつながりを説明している。様々な化学雑学も興味深い。

リスト番号：16-2

- (1) 『化学』編集部 (1997 年) 『CM をにぎわしたヒット商品——その化学的からくりと開発の舞台裏』、化学同人
- (2) 学問領域：化学
- (3) キーワード：化学、商品開発
- (4) 難易度 1
- (5) 15 年以上前の本のため現在では販売されていない商品もあるが、日常で何気なく手にしている商品の開発物語を通して、化学のおもしろさが分かる。また、企業で商品開発をめざす学生にとっては、企業とはどういうところかを実感できる。

リスト番号：16-3

- (1) A Project of the American Chemical Society (2005 年) 『実感する化学 上巻 地球感動編』(訳) 廣瀬千秋
- (2) 学問領域：化学
- (3) キーワード：オゾン層破壊、地球温暖化、エネルギー問題、酸性雨
- (4) 難易度 1
- (5) 現代社会の様々な問題について、化学との関わりを示し、その化学の本質を平易に説明している。上巻では、オゾン層破壊、地球温暖化、エネルギー問題、酸性雨を解説している。

リスト番号：16-4

- (1) A Project of the American Chemical Society (2005 年) 『実感する化学 下巻 生活感動 16. 化学編』(訳) 廣瀬千秋
- (2) 学問領域：化学
- (3) キーワード：核エネルギー、薬、薬物乱用、栄養、飢餓
- (4) 難易度
- (5) 下巻では、核エネルギー、薬、薬物乱用、栄養、飢餓について解説している。

リスト番号：16-5

- (1) ジェイ・バーレサン／ペニー・ルクーター (2011 年) 『スパイス、爆薬、医薬品 世界史を変えた 17 の化学物質』(訳) 小林力、中央公論新社
- (2) 学問領域：化学、歴史学
- (3) キーワード：植民地支配、産業革命、公衆衛生、戦争と平和、男女の役割

(4) 難易度 1

(5) 化学と世界史を結合させた良書。独創的な化学的アプローチで世界史を説明している。いかに化学物質が人類に貢献してきたかを分かりやすく書いてある。

17. 生物学

リスト番号：17-1

- (1) 下昌三 (2014 年) 『イチゴの基礎知識——生態と栽培技術』誠文堂新光社
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：イチゴ、促成栽培、花芽分化、休眠、繁殖
- (4) 難易度 2
- (5) イチゴの栽培方法や生理生態的な特性を知るには、良い本です。特に、促成栽培の技術を理解するためには、イチゴの休眠や花芽分化の生理について知る必要があります。本書は、それらを丁寧に解説してくれています。
- (6) 推薦者：柳智博 (農学部)

リスト番号：17-2

- (1) 園池公毅光 (2008 年) 『光合成とはなにか』講談社ブルーバックス
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：光合成、植物、エネルギー
- (4) 難易度 2
- (5) 光合成について少し詳しく知りたい学生にはうってつけの書籍である。あまりにも専門的な内容に走ることなく、光合成の概要を理解できる好著である。

リスト番号：17-3

- (1) 塚本勝巳 (2012 年) 『世界で一番詳しいウナギの話』飛鳥新社ポプラーサイエンス
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：ウナギ、水産、研究者
- (4) 難易度 1
- (5) ウナギがマリアナ海溝付近で産卵することを明らかにした研究者が、長い年月をかけてどのようにそれをつきとめていったのか、分りやすい解説と共に紹介されている。魚類に興味がある人は必読。

リスト番号：17-4

- (1) 石川統・大森正之・嶋田正和編 (2013 年) 『生物学入門 第 2 版』、東京化学同人
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：細胞、代謝、遺伝子、生態、進化
- (4) 難易度 1
- (5) 教養、専門を問わず、大学で学ぶにあたって生物学の基礎を固めておきたい者、または大学で生物学の知識が必要なのに高校で履修していなかった者に最適の書である。必要な事項がわかりやすく書かれている。

リスト番号：17-5

- (1) 種生物学会編 (2001 年) 『森の分子生態学』文一総合出版
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：生物多様性、遺伝子、分子マーカー

- (4) 難易度 3
- (5) 野外の生物がどのように生活しているのか、またどのように進化してきたのか。これらの疑問に答えるための方法を教えてくれるのが本書である。内容はやや高度で生物学の基礎的な知識を必要とする。
- (6) 推薦者：篠原渉（教育学部）

リスト番号：17-6

- (1) ニック・レーン（2007年）『ミトコンドリアが進化を決めた』（訳）斉藤隆央、みすず書房
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：ミトコンドリア、酸素呼吸、生物進化、真核細胞、多細胞生物
- (4) 難易度 3
- (5) 生物進化におけるミトコンドリアの重要性について、わかりやすく興味深く解説している、生化学者が執筆した科学図書である。ミトコンドリアを足掛かりとし、生物全般（生命活動、生物進化）を包括的に理解するきっかけとなる良書である。
- (6) 推薦者：藤田政之（農学部）

リスト番号：17-7

- (1) 石川統編（2013年）『生物学 第2版』東京化学同人
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：生物化学、細胞生理学、分子生物学
- (4) 難易度 2
- (5) 基礎的な内容のほかに、発生、シグナル伝達、神経伝達、ホルモン、免疫などについても詳細に図とともに記載されているので、指定された教科書よりさらに上記のことについて詳しく勉強したい人にお薦めする図書である。

リスト番号：17-8

- (1) 大森茂（2012年）『改訂版 大学 1,2年生のためのすぐわかる生物』東京図書株式会社
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：分子生物学、現代生物学、環境問題、基礎
- (4) 難易度 1
- (5) 近年の生物学の進歩はめざましい。大学の教養として生物学を学ぶ上で、何をみて、真理をどのように解明すべきかを考えるための参考書として、現状の生物学の基礎知識を補完する一冊である。

リスト番号：17-9

- (1) 原襄（1994年）『植物形態学』朝倉書店
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：器官、組織、形態形成、生殖
- (4) 難易度 2

- (5) 「植物の形にはどのような意味があるのだろうか」植物の外形や内部の構造を機能と結びつけて考えることは極めて重要である。そのことを意識しながら読んでもらいたい本である。
- (6) 推薦者：諸隈正裕（農学部）

リスト番号：17-10

- (1) 岩谷美苗（2011年）『街の木のキモチ——樹木医のおもしろ路上診断』山と溪谷社
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：街の緑ウォッチング，街路樹管理，樹木医
- (4) 難易度1
- (5) 過酷な環境でたくましく生きている街の緑について，豊富な写真と平易な文章で解説している。「木のキモチを読み取りながら街を歩くと，ありふれた風景が一時におもしろくなります。（本書前書きより抜粋）」
- (6) 推薦者：守屋均（創造工学部）

リスト番号：17-11

- (1) 立花隆・利根川進（1993年）『精神と物質』文春文庫
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：分子生物学、生命の謎
- (4) 難易度0
- (5) 評論家の立花隆氏がノーベル生理・医学賞受賞の利根川進氏との20時間に及ぶ徹底インタビューを通して、生命科学の最先端（当時）の現状をわかりやすく解説した本である。
- (6) 推薦者：麻田恭彦（農学部）

リスト番号：17-12

- (1) チャールズ・ダーウィン（2009年）『種の起源 上下』（訳）渡辺政隆、光文社（古典新訳文庫）
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：進化、自然淘汰、多様性、共通性
- (4) 難易度1
- (5) 生物学の根幹をなす進化学の発端となった古典的名著『種の起源』初版本の平易な日本語訳書。生物は共通の祖先を持ち、少しずつ変化しながら枝分かれをして多様になるという着想に基づき、自然淘汰による生物進化の仕組みを膨大な証拠から説明するダーウィンの偉業。生物学を学ぶ上で必読の書。
- (6) 推薦者：松本一範（教育学部）

リスト番号：17-13

- (1) 日本生態学会編（2012年）『生態学入門 第2版』東京化学同人
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：生態、進化、行動、環境、適応
- (4) 難易度1

- (5) 生態学（生物とその生息環境との相互作用を調べる研究）や生物進化（生物の遺伝的な性質が世代間で頻度変化すること）の基礎を学び、広範な視点から生物多様性保全、人口などの環境問題を包括的に学べる。2004年の第1版から改訂増補されさらに内容が充実した。
- (6) 推薦者：安井行雄（農学部）

リスト番号：17-14

- (1) 酒井聡樹・高田壯則・東樹宏和（2012年）『大改訂版 生き物の進化ゲーム——進化生態学最前線: 生物の不思議を解く』共立出版、3008円、ISBN：9784320057241
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：生態、進化、行動、環境、適応
- (4) 難易度2
- (5) 生物がいかに自分の生息環境に適応しているか、自然界の厳しい環境のなかでいかに生き延びて子孫を残すか、その適応戦略が進化してきたメカニズムを解説する。1999年の第1版から改訂増補されさらに内容が充実した。
- (6) 推薦者：安井行雄（農学部）

リスト番号：17-15

- (1) 伴野潔・山田寿・平智（2013年）『果樹園芸学の基礎』農山漁村文化協会
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：果樹、遺伝資源、分類
- (4) 難易度1
- (5) 「果樹」という言葉は欧米と日本とで規定が微妙に異なる。また、用いる分類法により様々な分け方ができる。この参考図書は果樹園芸の成り立ちから最新の遺伝子解析までをわかりやすく扱った入門書である。
- (6) 推薦者：望岡亮介（農学部）

リスト番号：17-16

- (1) 渡邊昭三編（2013年）『畜産入門』実教出版
- (2) 学問領域：生物学、畜産学
- (3) キーワード：家畜の特性、畜産、経営、環境
- (4) 難易度1
- (5) 畜産についての入門書。家畜種ごとに分けて解説されており、家畜の特性や飼育方法、経営、環境問題等について学ぶことができる。図や写真などが多く記載されており、理解しやすい一冊である。

リスト番号：17-17

- (1) R.K.Murryほか（2001年）『ハーパー・生化学』（監訳）上代淑人、丸善株式会社
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：生化学、物質代謝、タンパク質、脂質、糖質
- (4) 難易度2

- (5) 生命現象における基礎的な生化学的メカニズムが良好にまとめられている。具体的な物質の化学構造式、機能等を簡単に理解することが可能であり、生物学を学習する上において必須であると考えられる。

リスト番号：17-18

- (1) 篠崎一雄ほか編 (2001年) 『環境応答・適応の分子機構』 共立出版
- (2) 学問領域：生物学
- (3) キーワード：遺伝子、環境応答、ストレス、植物、分子機構
- (4) 難易度 3
- (5) 我々を取り巻く環境は時々刻々変化している。時としてストレスとなることもある。生物が環境の変化をどう感知し、応答しているのか、遺伝子、蛋白質、酵素などの分子レベルの反応を解説した良書。

18. 地理学

リスト番号：18-1

- (1) 中村和郎・高橋伸夫編（2000年）『地理学への招待（地理学講座1）』古今書院
- (2) 学問領域 地理学
- (3) キーワード：地理学、地理的分析、分布図、野外観察
- (4) 難易度1
- (5) 大学で一般教養の科目として地理学を学ぶ学生に、地理学の内容を的確に伝えることを目的としたシリーズの第1巻である。地球上の諸現象を空間的な視点から分析する地理学のエッセンスがわかりやすく説明されている。
- (6) 推薦者：平篤志（教育学部）

リスト番号：18-2

- (1) 竹中克行・大城直樹・梶田真・山村亜希編（2015年）『人文地理学への招待』ミネルヴァ書房
- (2) 学問領域：地理学
- (3) キーワード：人文地理学、人口、生産と流通、景観
- (4) 難易度1
- (5) 人文地理学を始めて学ぶ人のための入門書の改訂版である。人文地理学は、人間の諸活動を空間的な観点から考察する。本書では、生活と社会、生産と流通、想像と表象、景観の変化、そして実社会への応用の各側面からアプローチする。
- (6) 推薦者：平篤志（教育学部）

リスト番号：18-3

- (1) 杉浦章介・松原彰子・武山政直・高木勇夫（2005年）『人文地理学——その主題と課題』慶應義塾大学出版会
- (2) 学問領域：地理学
- (3) キーワード：人文地理学、環境と人間、場所と地域
- (4) 難易度2
- (5) 統合をめざす人文地理学の教科書である。環境と人間、場所と地域、情報技術と地理的世界といった切り口で、20世紀の人文地理学を概観し、政策科学としての人文地理学の可能性を探る。
- (6) 推薦者：平篤志（教育学部）

リスト番号：18-4

- (1) 高橋伸夫・田林明・小野寺淳・中川正（1995年）『文化地理学入門』東洋書林
- (2) 学問領域：地理学
- (3) キーワード：文化地理学、文化と地域、生態、景観、伝播
- (4) 難易度1
- (5) 本書は大学で初めて地理学を学ぶ学生を想定して書かれた文化地理学の入門書である。文化地理学は、地理学的な視点から文化の研究を行う学問分野である。本書を

読むことで、地域的、生態的、景観的側面から文化現象を理解する方法を学ぶことができる。

(6) 推薦者：平篤志（教育学部）

リスト番号：18-5

- (1) 山本健児（2005年）『経済地理学入門（新版）——地域の経済発展』原書房
- (2) 学問領域：地理学、経済学
- (3) キーワード：経済地理学、農業、工業、都市システム、国民経済
- (4) 難易度1
- (5) 経済地理学は、地域的・空間的視点から経済現象を理解しようとする人文地理学の一分野である。本書は、その経済地理学の基礎の修得をめざすテキストとしてつくられた。特に、地域の経済発展と関係づけて論を展開しているところに新しさがある。
- (6) 推薦者：平篤志（教育学部）

リスト番号：18-6

- (1) 松山洋・川瀬久美子・辻村真貴・高岡貞夫・三浦英樹（2014年）『自然地理学』ミネルヴァ書房
- (2) 学問領域：地理学、地球科学
- (3) キーワード：自然地理学、地形、気候、水文、植生、土壌
- (4) 難易度1
- (5) 本書は、人文地理学と並んで地理学の一分野をなす自然地理学の入門書である。地形や気候、水文、植生、土壌といったさまざまな自然現象を、空間的な視点に立って分析する自然地理学の内容と研究法をわかりやすく解説している。
- (6) 推薦者：平篤志（教育学部）

リスト番号：18-7

- (1) 漆原和子・藤塚吉浩・松山洋・大西宏治編（2007年）『図説 世界の地域問題』ナカニシヤ出版
- (2) 学問領域：地理学
- (3) キーワード：世界、地域問題、環境問題、地図表現
- (4) 難易度1
- (5) 世界の地域問題を、アメリカ、ヨーロッパ、アジアといった大陸別に考察した1冊である。地域問題は、温暖化・砂漠化等の環境問題から、人口問題、食糧問題、社会・経済問題まで多岐にわたる。本書を通して、世界が直面する諸問題を概観することができる。
- (6) 推薦者：平篤志（教育学部）

19. 統計学

リスト番号：19-1

- (1) 大屋幸輔 (2012 年) 『コア・テキスト統計学』 新世社
- (2) 学問領域：統計学
- (3) キーワード：統計学、ファイナンス
- (4) 難易度 2
- (5) 基本的な事項が網羅されていて例題も豊富で、計量ファイナンスのトピック（投資収益率、ボラティリティ、ポートフォリオなど）も説明されているので、アップデートなテキストになっている。

リスト番号：19-2

- (1) 田中勝人 (2010 年) 『基礎コース 統計学 (第 2 版)』 新世社
- (2) 学問領域：統計学
- (3) キーワード：統計学
- (4) 難易度 2
- (5) 大学で初めて統計学を学ぶ学生に向けた教科書。統計学の 2 本柱である統計と推定・検定について豊富な図解でやさしく解説する。

リスト番号：19-3

- (1) 西内啓 (2013 年) 『統計学が最強の学問である』 ダイアモンド社
- (2) 学問領域：統計学
- (3) キーワード：データマイニング、ビッグデータ、統計解析
- (4) 難易度 0
- (5) H.G.ウェルズが 1903 年” 将来、統計学的思考が読み書きと同じように良き社会人として必須の能力になる日が来る” と予言している。情報化社会の発達とともに様々な情報を大量に入手可能となっている現代において、統計学で記述されている情報の意味や限界を紹介しており、統計学を学ぶ意味を納得させられる書籍である。

リスト番号：19-4

- (1) 西郷浩 (2012 年) 『初級 統計分析』 新世社
- (2) 学問領域：統計学
- (3) キーワード：統計学、経済データ
- (4) 難易度 1
- (5) あらゆる統計分析の基礎である記述統計の考え方と方法を一からひもといた入門テキスト。分析手法の数理的な側面よりも、データの分析を通して調査対象をよりよく理解することを重視して解説した。

リスト番号：19-5

- (1) 長谷川勝也 (2000 年) 『確率・統計のしくみがわかる本』 技術評論社
- (2) 学問領域：統計学
- (3) キーワード：統計学、確率、演習

- (4) 難易度 1
- (5) 統計に関する演習を通して統計及び確率の基礎を学ぶことができる。数式もあるが、図も多用されているので、ビジュアルな面からも統計の基礎的概念の理解につながる。

リスト番号：19-6

- (1) ポール G. ホーエル (1981 年) 『初等統計学 (第 4 版)』(訳) 浅井晃・村上正康、培風館
- (2) 学問領域：統計学
- (3) キーワード：統計学、古典
- (4) 難易度 1
- (5) 数学を多用しない統計学入門の古典的名著。演習問題も多く、基礎的な統計学の知識を身に付けるには最適である。

リスト番号：19-7

- (1) 前川功一 (2014 年) 『経済・経営系のためのよくわかる統計学』朝倉書店
- (2) 学問領域：統計学
- (3) キーワード：統計学、経済・経営
- (4) 難易度 1
- (5) 数学的が苦手な人向き。実際のデータを用いた例題が多い。計量ファイナンスのトピック (オプション、ボラティリティ、ポートフォリオなど) も説明されている。

リスト番号：19-8

- (1) 矢野和男 (2014 年) 『データの見えざる手 ウェアラブルセンサが明かす人間・組織・社会の法則』草思社
- (2) 学問領域：統計学
- (3) キーワード：人間行動、組織マネジメント、経済、社会現象
- (4) 難易度 0
- (5) 社会現象や人間の行動をウェアラブルセンサを用いて計測し、この大量なデータを解析する事により、人間行動の法則化から人間の幸せ組織マネジメント、経済活動等に関して言及している。

リスト番号：19-9

- (1) D.ロウントリー (2001 年) 『新・涙なしの統計学』(訳) 加納悟、新世社
- (2) 学問領域：統計学
- (3) キーワード：統計学、文章の説明
- (4) 難易度 1
- (5) 文章や図を用いた解説を多用し、読む側にとってほとんど数学的な負担が内容に配慮されている。全体的に統計学のイメージは描けるものの、演習問題等は少なく、これに関しては自分自身で補完する必要がある。

リスト番号：19-10

- (1) 涌井良幸・涌井貞美 (2010 年) 『統計解析がわかる』 技術評論社
- (2) 学問領域：統計学
- (3) キーワード：統計学、諸分布
- (4) 難易度 1
- (5) イラストを用いることで、よくありがちな統計の無機質な説明をより学生に身近なものとして伝えてくれる。わかりやすい例などを用いて工夫しているが、全く数式がないわけではない。一通り統計の基礎を、分布関数も含めて解説しており、全般的な理解につながる。

他分野との関連図書

リスト番号：1-19 道田泰司・宮元博章 (1999 年) 『クリティカル進化論』 北大路書房

詳細は 5 ページ参照のこと

20. 情報科学

リスト番号：20-1

- (1) Tim Bell, Ian H. Witten, Mike Fellows (2007年) 『コンピュータを使わない情報教育 アンプラグドコンピュータサイエンス』(監訳) 兼宗進、イーテキスト研究所
- (2) 学問領域：情報科学・情報リテラシー
- (3) キーワード：情報の基礎、情報教育、アンプラグド
- (4) 難易度2
- (5) 情報リテラシーや情報系専門科目で学習するデータ表現やアルゴリズムを、コンピュータを使わずにいかに平易に理解させるかに主眼を置いた少々変わった書籍である。小難しい情報科学の話も目から鱗です。この本を参考に教育実践している先生達も世界中にいます。誰にでもとっつきやすい本です。
- (6) 推薦者：林敏浩(創造工学部、情報メディアセンター)

リスト番号：20-2

- (1) 小谷太郎(2014年) 『理系あるある』 幻冬舎
- (2) 学問領域：情報科学・情報リテラシー
- (3) キーワード：理系、導入教育
- (4) 難易度1
- (5) 理系の人なら身に覚えのある「あるある」な行動や習性を集め、その背後にある科学的論理をやさしく解説する本です。文系の人にとっては不可解な行動も？
- (6) 推薦者：村井礼(大学連携 e-Learning 教育支援センター四国)

リスト番号：20-3

- (1) よしたに(2008-2014年) 『理系の人々』 1～4、2008年、中経出版
- (2) 学問領域：情報科学・情報リテラシー
- (3) キーワード：理系、導入教育
- (4) 難易度1
- (5) 社会人向け転職サイト「リクナビ NEXT」内「Tech 総研」に連載。いわゆる「理系」の社会人の性格や考え方などを紹介する作品。将来、理系な人と働こうと考えている学生は、彼らの思考の一端を知るきっかけに！
- (6) 推薦者：村井礼(大学連携 e-Learning 教育支援センター四国)

リスト番号：20-4

- (1) 稲森謙太郎(2010年) 『女子大生マイの特許ファイル』、楽工社
- (2) 学問領域：情報科学・情報リテラシー
- (3) キーワード：特許実務、特許管理、知的財産
- (4) 難易度
- (5) 専門のと敬遠されがちな特許実務を女子大生目線で分かりやすく紹介している小説です。将来、特許事務所で働こうと考えている人にお薦め。
- (6) 推薦者：村井礼(大学連携 e-Learning 教育支援センター四国)

リスト番号：20-5

- (1) 本間政憲 (2010 年) 『マンガで学ぶ藍ちゃんの著作権 50 講』 三和書籍
- (2) 学問領域：情報科学・情報リテラシー
- (3) キーワード：著作権、導入教育、知的財産
- (4) 難易度 1
- (5) 初学者が知識ゼロから著作権法を学ぶ入門書として最適。著作権法の 50 講に分け、漫画を使って分かりやすく解説している。
- (6) 推薦者：村井礼 (大学連携 e-Learning 教育支援センター四国)

リスト番号：20-6

- (1) 草薙信照・植松康祐 (2014 年) 『文科系のためのコンピューターリテラシ [第 6 版]』サイエンス社
- (2) 学問領域：情報科学・情報リテラシー
- (3) キーワード：情報リテラシー
- (4) 難易度 1
- (5) Microsoft Office の基本的な使い方を中心に、実例を伴った解説があり、自学自習に向いている。数年前まで教育学部のマルチメディアリテラシーで使用 (推薦) していたテキスト。
- (6) 推薦者：黒田勉 (教育学部)

リスト番号：20-7

- (1) 福村晃夫 『情報学 絵とき読本』 1996 年、オーム社
- (2) 学問領域：情報科学・情報リテラシー
- (3) キーワード：情報、人間、生活、アナログ、デジタル
- (4) 難易度 1
- (5) 知の体系としての「情報学」の体系化を試みた書籍です。著者自らが手書きで描いた豊富な分かりやすい絵と共に、情報にかかわる学問を学ぼうとする人たちに概論風に読まれることを想定した本です。
- (6) 推薦者：林純一郎 (創造工学部)

他分野との関連図書

リスト番号：7-9

井波陵一 (2003 年) 『知の座標——中国目録学』 白帝社
詳細は 24 ページを参照のこと

21. 医学

リスト番号：21-1

- (1) 医療情報科学研究所編 (2020年)『病気がみえる vol.1 消化器 第6版』メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、消化器疾患
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-2

- (1) 医療情報科学研究所編 (2021年)『病気がみえる vol.2 循環器 第5版』メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、循環器疾患
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-3

- (1) 医療情報科学研究所編 (2019年)『病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第5版』メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、糖尿病、代謝・内分泌疾患
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-4

- (1) 医療情報科学研究所編 (2018年)『病気がみえる vol.4 呼吸器 第3版』メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、呼吸器疾患
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-5

- (1) 医療情報科学研究所編 (2017年)『病気がみえる vol.5 血液 第2版』メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、血液疾患
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-6

- (1) 医療情報科学研究所編 (2018年)『病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第2版』メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、免疫疾患、膠原病、感染症
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-7

- (1) 医療情報科学研究所編 (2017年)『病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版』メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、脳・神経系疾患
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-8

- (1) 医療情報科学研究所編 (2019年)『病気がみえる vol.8 腎・泌尿器 第3版』メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、腎・泌尿器疾患
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-9

- (1) 医療情報科学研究所編 (2018年) 『病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科 第4版』
メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、婦人科、乳腺外科
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-10

- (1) 医療情報科学研究所編 (2018年) 『病気がみえる vol.10 産科 第4版』 メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、産科
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-11

- (1) 医療情報科学研究所編 (2017年) 『病気がみえる vol.11 運動器・整形外科』 メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、運動器、整形外科疾患
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-12

- (1) 医療情報科学研究所編 (2019年) 『病気がみえる vol.12 眼科』 メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、眼科
- (4) 難易度2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介 (医学部)

リスト番号：21-13

- (1) 医療情報科学研究所編 (2020年) 『病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科』 メディックメディア

- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、頭頸部、耳鼻咽喉科
- (4) 難易度 2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介（医学部）

リスト番号：21-14

- (1) 医療情報科学研究所編（2020年）『病気がみえる vol. 14 皮膚科』メディックメディア
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：医学、皮膚疾患
- (4) 難易度 2
- (5) イラストを多用しているため、非常に分かりやすくコンパクトに書かれている。十分な情報量ではないが、自宅学習も可能な本である。
- (6) 推薦者：三宅啓介（医学部）

リスト番号：21-15

- (1) 御園生誠（2012年）『グリーンケミストリー——社会と化学の良い関係のために』共立出版
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：化学、グリーンサステイナブルケミストリー、環境
- (4) 難易度 1
- (5) 現在の社会の現状に即した題材を選び、環境負荷の小さな社会の確立のために化学が果たしている、あるいは果たすべき役割を判り易く解説している。現在社会に生きる市民にふさわしい化学リテラシーを身につけるために必読であろう。
- (6) 推薦者：和田健司（医学部）

リスト番号：21-16

- (1) ロバート・P・クリース（2006年）『世界でもっとも美しい 10 の科学実験』（訳）青木薫、日経 BP 社
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：科学実験、化学、物理、生物、科学史
- (4) 難易度 1
- (5) 科学史の中で、マイルストーンとなった著名な 10 の実験を選んで、図解を多用して解説している。教科書に書かれている重要な法則が、実際にどのような手段で見出されたかを知ることが出来る。
- (6) 推薦者：和田健司（医学部）

※これは物理学の **リスト番号：15-1** にも挙げられています

リスト番号：21-17

- (1) 大橋俊夫・河合佳子（2016年）『生きているしくみがわかる生理学』医学書院

- (2) 学問領域：医学
- (3) 人体、生理機能、仕組み
- (4) 難易度：2
- (5) 試験で緊張すると動悸がするのはなぜ？辛い物を食べると汗をかくにはなぜ？フグに当たると死ぬのはなぜ？など様々な人体に関する疑問に、人体の仕組みからわかりやすく説明する本です。人体の仕組みを明らかにする生理学という学問領域の最新知見をもとに解説されています。
- (6) 推薦者：平野勝也（医学部）

リスト番号：21-18

- (1) ウィリアム・ハーヴィ (2005年) 『心臓の動きと血液の流れ』(訳) 岩間吉也、講談社
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：心臓、血管、血液循環、心血管系
- (4) 難易度2
- (5) 血液は、心臓から動脈、静脈を経て、再び心臓に戻る循環運動を行うことを証明し、循環器という概念を提唱した 1628年刊行の著書の日本語訳。近代生理学の金字塔として知られる。時代を経ても変わらない科学的方法、態度を知ることができる。
- (6) 推薦者：平野勝也（医学部）

リスト番号：21-19

- (1) 萩原清文 (2019年) 『好きになる免疫学 第2版』講談社
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：免疫学、アレルギー
- (4) 難易度1
- (5) 初心者向けに、読みやすくまとめられています。イラストが理解の助けになります。
- (6) 推薦者：星野克明（医学部）

リスト番号：21-20

- (1) 岸本忠三・中嶋 彰 (2007年) 『現代免疫物語——花粉症や移植が教える生命の不思議』講談社
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：免疫、インターロイキン6
- (4) 難易度1
- (5) 免疫の話を素人にも興味深く、解りやすく説明している。免疫の仕組みを解明する研究者たちの奮闘の歴史が、物語として書かれている。
- (6) 推薦者：星野克明（医学部）

リスト番号：21-21

- (1) 河本宏・しおざき忍 (2014年) 『マンガでわかる免疫学』オーム社
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：免疫
- (4) 難易度2

- (5) 免疫学の最新の内容がマンガを交えて解説されています。入門書では物足りない人にお勧めです。
- (6) 推薦者：星野克明（医学部）

リスト番号：21-22

- (1) 齋藤紀先（2018年）『休み時間の免疫学 第3版』講談社
- (2) 学問領域 医学
- (3) キーワード：感染、免疫、アレルギー
- (4) 難易度2
- (5) もう少し詳しく勉強したい人向け。医学部の学生向きかもしれない。
- (6) 推薦者：仁木敏朗（医学部）

リスト番号：21-23

- (1) 審良静男・黒崎知博（2014年）『新しい免疫入門——自然免疫から自然炎症まで』講談社
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：感染、自然免疫
- (4) 難易度3
- (5) 自然免疫研究の世界的権威である審良静男教授が、最新の研究成果を解説している。さらに勉強したい人向けの本。
- (6) 推薦者：仁木敏朗（医学部）

リスト番号：21-24

- (1) 藤田紘一郎（1999年）『笑うカイチュウ——寄生虫博士奮闘記』講談社
- (2) 学問領域：医学
- (3) キーワード：寄生虫、感染症
- (4) 難易度1
- (5) カイチュウ博士として有名な著者が、30年以上の経験のなかで遭遇した様々な寄生虫に関する話題を、ややくだけた調子でまとめたものである。読み物として非常に面白く、寄生虫に対する愛情に満ちていると同時に、過剰なまでに清潔な日本人の生活に疑問を投げかけている。
- (6) 推薦者：新井明治（医学部）

22. 看護学

リスト番号：22-1

- (1) フロレンスナイチンゲール、湯楨ます他（訳）（2011）『看護覚え書』現代社
- (2) 学問領域：看護学
- (3) キーワード：看護の考え方、環境、健康、生命力の消耗
- (4) 難易度2
- (5) 近代看護の母といわれるナインチンゲールの考える看護の基本、看護の提供者に必要なことを示している
- (6) 推薦者：前川泰子（医学部）

リスト番号：22-2

- (1) ヴァージニア・ヘンダーソン、湯楨ます他（訳）（2016年）『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会
- (2) 学問領域：看護学
- (3) キーワード：看護独自の機能
- (4) 難易度1
- (5) ナイチンゲールの「看護覚え書」から100年後、医科学の発展、医療サービスの漸次専門分化という潮流の中で、ICN（国際看護師協会）の依頼により書かれた看護独自の機能、存在理由、その原理を擁した、読みやすい小冊子である。
- (6) 推薦者：前川泰子（医学部）

リスト番号：22-3

- (1) （監修）山本美輪（2018年）『これからの高齢者ケア ～知る・識る・共感する～』シービーアール
- (2) 学問領域：看護学
- (3) キーワード：高齢者理解、加齢に伴う変化、認知症ケアの実際
- (4) 難易度2
- (5) 本書は、少子高齢化が進む日本において、これからの大きなテーマの一つである、「高齢者のケア」について、「知ること」、「知識」、「共感すること」までの3つのテーマで構成され、動画でどのように高齢者のケアをすればよいのかということ学ぶことができ、今まで活字媒体を中心に学んできた方にとって、視覚的にわかりやすい。

参照 URL：<https://contendo.jp/store/cbr/Product/Detail/Code/J0010424BK0074355001/>

- (6) 推薦者：山本美輪（医学部）

リスト番号：22-4

- (1) International Journal of Japanese Nursing care practice and Study 研究会/（監修）山本美輪（2019年）『看護教育におけるシミュレーション教育』
- (2) 学問領域：看護学
- (3) キーワード：看護教育、シミュレーション、韓国
- (4) 難易度2

- (5) 看護基礎教育, 臨床看護師教育において注目され活用が進むシミュレーション教育。看護教育におけるシミュレーション教育の実践例を韓国、日本の看護教育現場より紹介されている。
- (6) 推薦者：山本美輪（医学部）

リスト番号：22-5

- (1) 田村 美子（監修）、二重作 清子/久木原 博子/実藤 基子（編著）（2022年）『「看護者に期待されるもの」シリーズ4 聴く力』ふくろう会出版
- (2) 学問領域：看護学
- (3) キーワード：看護者、聴く力
- (4) 難易度 1
- (5) 看護教育に携わる教員がそれぞれの経験より考える「看護者に期待される聴く力」について書かれており、様々な視点による「聴く力」について肩肘をはずらず読み進めることができる。
- (6) 推薦者：山本美輪（医学部）

リスト番号：22-6

- (1) 進 純郎、岡本 喜代子（2014年）『助産力』日本助産師会出版
- (2) 学問領域：看護学、助産学、母性看護学
- (3) キーワード：助産、助産師、自然分娩
- (4) 難易度 2
- (5) 助産師になりたい方、自然なお産について知りたい方、是非ご一読することをお勧めします。
- (6) 推薦者：川田紀美子（医学部）

リスト番号：22-7

- (1) 非配偶者間人工授精で生まれた人の自助グループ(DOG: DI Offspring Group)、長沖 暁子（2014年）『AID で生まれるということ 精子提供で生まれた子どもたちの声』萬書房
- (2) 学問領域：生命倫理、生殖補助医療、看護学
- (3) キーワード：生命倫理、人工授精、出自を知る権利、家族、看護
- (4) 難易度 2
- (5) 医療の進歩に倫理や制度が追いつかない現状について考えさせられる難しいテーマですが、多くの人に読んで考えていただきたいです。
- (6) 推薦者：川田紀美子（医学部）

リスト番号：22-8

- (1) 流産死産経験者で作るポコズママの会（2007年）『ともに生きる—たとえ産声をあげなくとも』中央法規出版
- (2) 学問領域：母性看護学、助産学、産科学
- (3) キーワード：妊娠、流産、死産、グリーフケア、看護
- (4) 難易度 1

- (5) 経験者による貴重な体験談です。生命の誕生がいかに貴重であるかが実感していただけます。
- (6) 推薦者：川田紀美子（医学部）

リスト番号：22-9

- (1) 本郷 寛子, 新井 基子, 五十嵐 祐子(2012年)『母乳育児支援コミュニケーション術-お母さんも支援者も自信がつく (Breastfeeding for a medical pr)』南山堂
- (2) 学問領域：母性看護学、助産学、看護学
- (3) キーワード：出産、母乳、育児、看護
- (4) 難易度1
- (5) 母乳育児支援の場面に限らず、看護の様々な場面で参考になるコミュニケーション技術がわかりやすく書かれています。
- (6) 推薦者：川田紀美子（医学部）

リスト番号：22-10

- (1) 五味太郎（2003年）『おまちしてます（主婦の友はじめてブックシリーズ）』主婦の友社
- (2) 学問領域：母性看護学、助産学、看護学
- (3) キーワード：妊娠、出産、胎教、看護
- (4) 難易度1
- (5) 絵本作家五味先生の、おなかの中の赤ちゃんへの読み聞かせにお勧めの一冊です。
- (6) 推薦者：川田紀美子（医学部）

リスト番号：22-11

- (1) 清水裕子(2013年)『ヒューマンケアと看護学』ナカニシヤ出版
- (2) 学問領域：看護学、成人看護学
- (3) キーワード：ヒューマンケア、ケアリング
- (4) 難易度3
- (5) 看護の対象となる人の存在やヒューマンケアについて、ケアリングを基盤に、ライフサイクル全般をとおして学際的に学べます。
- (6) 推薦者：金正貴美（医学部）

リスト番号：22-12

- (1) 宮本眞己(2019年)『看護場面の再構成』日本看護協会出版会
- (2) 学問領域：看護学、成人看護学
- (3) キーワード：看護学、看護場面、再構成、看護の課題
- (4) 難易度2
- (5) 看護学生、看護師は、患者さんとのコミュニケーションや看護場面を振り返って、感じ考えたことから再構成することで、患者さんの理解を深め看護の意味を得ています。看護師の関わりがよく見えるようになる1冊です。
- (6) 推薦者：金正貴美（医学部）

リスト番号：22-13

- (1) 寺本松野(1985年)『そのときそばにいて、死の看護をめぐる論考集』日本看護協会出版会
- (2) 学問領域：看護学、終末期看護学
- (3) キーワード：死、看護、ナイチンゲール
- (4) 難易度2
- (5) 人が死にゆくこととそばでいることの意味について、心からの理解を得ることができます。
- (6) 推薦者：金正貴美（医学部）

リスト番号：22-14

- (1) 卯野木健(2015年)『クリティカルケア看護入門 改訂第2版：“声にならない訴え”を理解する』Gakken
- (2) 学問領域：看護学、クリティカルケア看護
- (3) キーワード：看護、クリティカルケア看護、臨床判断、アセスメント
- (4) 難易度3
- (5) クリティカルケア看護について、看護師がどのように捉えているのか、臨床をもとに書かれており、興味深い内容となっています。医学的知識を看護ケアにどのように活かしているのかの理解を得ることができます。
- (6) 推薦者：金正貴美（医学部）